

PORTERS HR-Business Cloud Application Development Guide

2016/02/19

Contents

Overview	5
API List.....	5
Terminology	8
Application Subscription	10
Subscribe and Unsubscribe Application	10
Subscribe to Application.....	10
Launch Application	12
Unsubscribe from Application.....	12
Authentication and Authorization	14
Steps for Authentication	14
Application Authentication Sequence 1.....	14
Application Authentication Sequence 2.....	15
Application Authentication Sequence for Refresh Token	15
Company DB にアクセス権を付与するには	15
OAuth	17
oauth	17
Token	19
token	19
Error	20
Data Type and Format.....	22
Data Type & Format	22
HTTP Header.....	22
X-porters-hrbc-oauth-token	22
ContentType.....	22
Parameter	23
Read – Field.....	23
Read – Condition	23
Suffix for Number type	23
Suffix for Text type.....	24
Suffix for Option type	24
Read – Keywords	25
Read – Order	25
Suffix	25
XML Format	27
Read API	27
Standard Format.....	27
Number Type.....	27

Option Type..... 27

Reference or System Type..... 28

Image Type 29

Write API 30

 Standard Format..... 30

 Number Type..... 30

 Option Type..... 30

 System Type 30

 Image Type 32

Resource API 33

 Partition 33

 Read 33

 Field List..... 34

 User..... 35

 Read 35

 Field List..... 36

 Field..... 37

 Read 37

 Field List..... 38

 Option 39

 Read 39

 Field List..... 40

 Client 42

 Read 42

 Write 43

 Field List..... 44

 Recruiter 46

 Read 46

 Write 47

 Field List..... 49

 Job 50

 Read 50

 Write 51

 Field List..... 53

 Candidate 54

 Read 54

 Write 55

 Field List..... 57

Resume	58
Read	58
Write	59
Field List	61
Process	62
Read	62
Write	63
Field List	65
Activity	67
Read	67
Write	69
Field List	71
Contract	72
Read	72
Write	73
Field List	75
Sales	76
Read	76
Write	77
Field List	79
Phase	81
Read	81
Write	82
Field List	84
Attachment	85
Read	85
Write	86
Field List	88
Code Reference	89
Resource List	89
Field Type List	89
Result Code List	90
特殊な動作	91
Phase の更新について	91
名称が自動生成される項目	92
Appendix	92
アプリケーション開発時の注意点	92
システム停止状態に対応したアプリケーション構成	92

データを失わないために	92
接続に関する注意点	92
HRBC での項目の変更	93
初期項目と選択肢	93
初期項目	93
選択肢	102
Update History	111
Version 3.12.9	111
Version 3.12	111
Version 3.11.9	111
Version 3.11	112
Version 3.9.16	112
Version 3.9.12	112
Version 3.3	112
Version 3.2.10.4	113
Version 3.2.10.2	114
Version 3.2.10	116
Version 3.2.9	116
Version 3.2.8.1	116
Version 3.2.8	117

Overview

このドキュメントは、PORTERS HR Business Cloud Connect API(以下 HRBC API)の解説を記載しています。HRBC API を利用するためには、まず、開発パートナー登録を行い、さらにアプリケーションの登録を行う必要があります。アプリケーションの登録をすると、Application Id と Secret Code が発行されますので、これらを利用して PORTERS の認証サーバーによる認証を受けることができるようになります。

API にアクセスする前に、Authentication API を使って Access Token を取得してください。Access Token が有効な限り、API を呼び出して、PORTERS HR Business Cloud 上のデータを登録、更新、取得することができます。

API List

Authentication API

URL	概要
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/oauth	アプリケーション認証を行います。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/token	Access Token の取得を行います。

Resource Access API

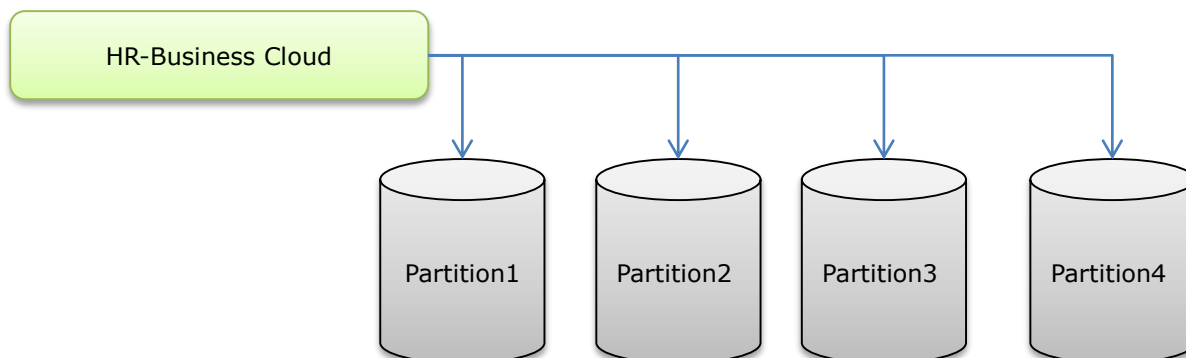
URL	概要
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/partition	パーティション情報を取得します。 Read Operation を提供します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/user	ユーザーの情報を取得します。 Read Operation を提供します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/field	リソースの項目情報を取得します。 Read Operation を提供します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/option	検索条件を指定して選択肢の情報を取得します。 Read Operation を提供します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/client	検索条件を指定して企業の情報を取得します。または指定した内容で企業の情報の登録、更新を行います。 Read/Write Operation を提供します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/recruiter	検索条件を指定して企業担当者の情報を取得します。または、指定した内容で、企業担当者の情報の登録、更新を行います。 Read/Write Operation を提供します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/job	検索条件を指定して求人の情報を取得します。または、指定した内容で、求人の情報の登録、更新を行います。 Read/Write Operation を提供します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/candidate	検索条件を指定して求職者の情報を取得します。または、指定した内容で、求職者の情報を新規登録、更新を行います。 Read/Write Operation を提供します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/resume	検索条件を指定して求職者の求職情報を取得します。または、指定した内容で求職者の求職情報を登録、更新を行います。 Read/Write Operation を提供します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/process	検索条件を指定して求職者の進捗情報を取得します。または、指定した内容で求職者の進捗情報を登録、更新を行います。 Read/Write Operation を提供します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/activity	検索条件を指定してアクティビティ情報を取得します。または、指定した内容でアクティビティ情報を登録、更新を行います。 Read/Write Operation を提供します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/contract	検索条件を指定して契約情報を取得します。または、指定した内容で契約情報を登録、更新を行います。 Read/Write Operation を提供します。

https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/sales	検索条件を指定して売上情報を取得します。または、指定した内容で売上情報を登録、更新を行います。 Read/Write Operation を提供します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/phase	検索条件を指定してフェーズ情報を取得します。または、指定したフェーズ情報を登録、更新を行います。 Write Operation を提供します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/attachment	検索条件を指定して添付ファイル情報を取得します。または、指定した添付ファイルを登録、更新を行います。 Write Operation を提供します。

Terminology

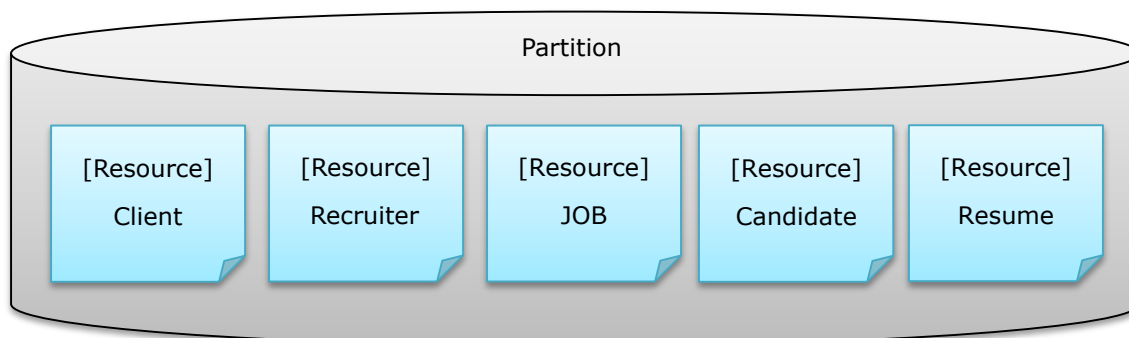
- **Partition (パーティション)**

HR-Business Cloud では、個々の会社データを独立したデータ単位で管理しています。この独立した会社データの単位を Partition と呼びます。企業 DB、会社 DB と呼ばれることもあります。



- **Resource (リソース)**

Partition の中に保存される、各種データのことを Resource と呼びます。例えば、「個人連絡先」に関するデータであれば Candidate Resource、「JOB」に関するデータであれば、Job Resource と呼びます。これらの Resource にアクセスする API のことを Resource API と呼ぶこともあります。

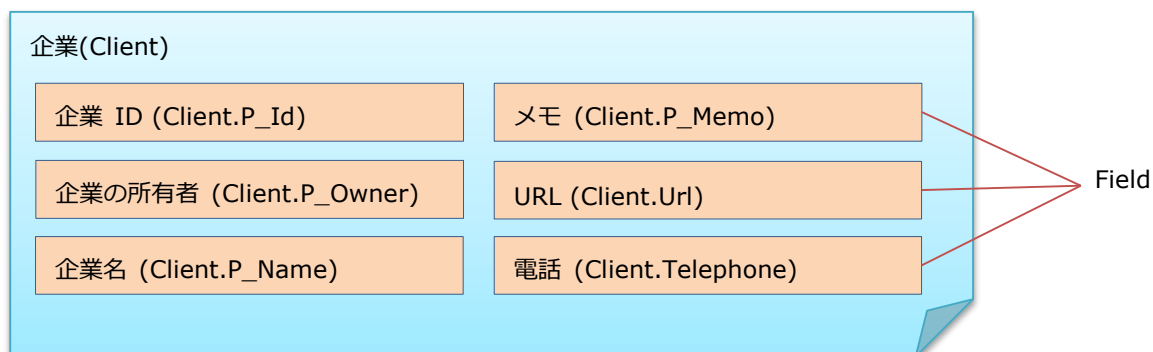


Resource は、HRBC の情報と次のような対応関係があります。

HRBC における名称	Resource 名
企業	Client
企業担当者	Recruiter
JOB	Job
個人連絡先	Candidate
レジューメ	Resume

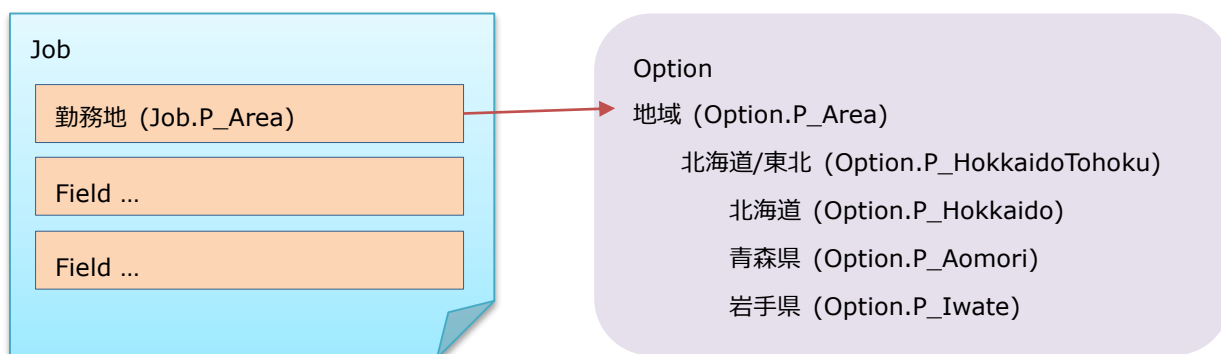
- **Field(フィールド)**

Resource の中に定義されている項目を Field と呼びます。Resource にアクセスする時、どの項目を読み込みまたは書き込みするかを、Field 名を指定して取得します。



- **Option(オプション)**

Option は選択肢を定義するマスターデータです。選択肢型の Field には、選択肢として Option を関連づけることができます。その Field は関連づけられた Option の選択肢から、単一選択または複数選択を行うことができます。



Application Subscription

Subscribe and Unsubscribe Application

ここでは、HRBC の[アプリケーション]メニューからアプリケーションが起動されるプロセスについて解説します。アプリケーションの登録が行われていれば、HRBC の[アプリケーション]メニューに、登録したアプリケーションが表示されるようになります。



アプリケーションメニュー

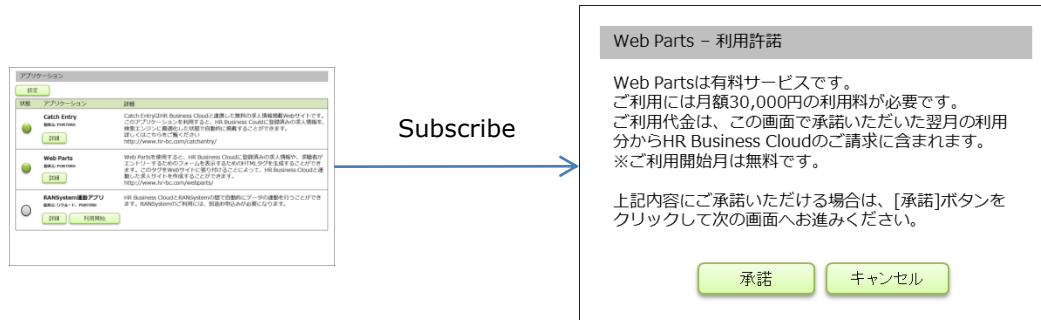
Subscribe to Application

アプリケーションの利用を開始していない場合は、[利用開始]ボタンが表示されます。ユーザーが[利用開始]ボタンをクリックすると、HRBC のアプリケーションメニューは、アプリケーションの URL を次のように呼び出します。次の例は、アプリケーション登録時に <http://myapplication.com> として登録した場合の例です。

<http://myapplication.com?subscribe>

利用開始時の呼び出しの場合、パラメータに `subscribe` が指定されているのがわかります。アプリケーションは、呼び出し時の URL パラメータに `subscribe` が渡されたかどうかを判断することによって、そのユーザーから初めて呼び出されたかどうかを判断することができます。

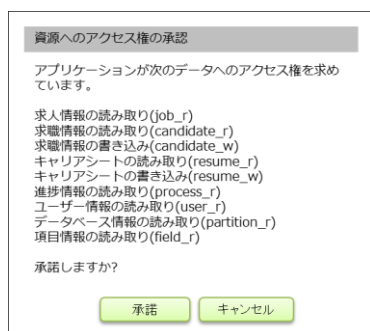
`subscribe` のパラメータが指定されて呼び出しされた場合、アプリケーションは、はじめてアクセスされた時の画面を表示することが推奨されます。特に「利用規約」等を表示する場合は、このタイミングで表示するのがよいでしょう。ただし、このような手続きを必要としないアプリケーションの場合、そのまま次のステップに進むこともできます。



アプリケーションの利用規約の画面例

利用許諾などの画面を表示した場合、アプリケーションは、[承諾]ボタンをクリックされたときに、oauth API を呼び出します。oauth API を呼び出すと、認証サーバーは、ユーザーがログインしているかどうかをチェックし、ログインしていない場合はログイン画面を表示します。アプリケーションメニューからこの画面に遷移している場合、既にログインしているはずなので、特殊な場合を除いて、ログイン画面に遷移することはありません。

次に、認証サーバーは、アプリケーションが要求している資源に対するアクセス権をチェックします。通常、この時点でアプリケーションがアクセス権を取得していることはありませんので、[資源へのアクセス権の承認]画面が表示されます。



認証サーバーによって表示された[利用権限確認画面]

ユーザーが、[承諾]をクリックした場合、アプリケーションはアクセス権を取得することができます。このタイミングで、認証サーバーは、アクセスしてきたユーザーおよび会社を記録します。

認証サーバーは、Access Token を取得するための code を付加して、oauth API で指定された URL へ Redirect します。redirect_url が http://myapplication.com/callback だった場合、アプリケーションは次のような URL で Redirect されます。

`http://myapplication.com/callback?code=fa1f7d7d7a02b07a1544a7bea19542dd&response_type=code`

アプリケーションは、この code を使用して、Access Token を取得するために、token API を使用して認証サーバーに対して Request を出すことによって、資源へのアクセスを行うことができるようになります。

Launch Application

既に利用開始しているアプリケーションでは、アプリケーションメニューに[利用開始]ボタンは表示されません。アプリケーションの名称をクリックすると、アプリケーションは、アプリケーション登録時に指定された URL を呼び出します。次の例は、アプリケーション登録時に、<http://myapplication.com>として登録した場合の例です。

<http://myapplication.com>

HRBC の資源へのアクセスがすぐに必要な場合は、アプリケーションは、oauth API を呼び出します。これ以降は初回起動時と同様の手続きを行って、Access Token を取得します。

Unsubscribe from Application

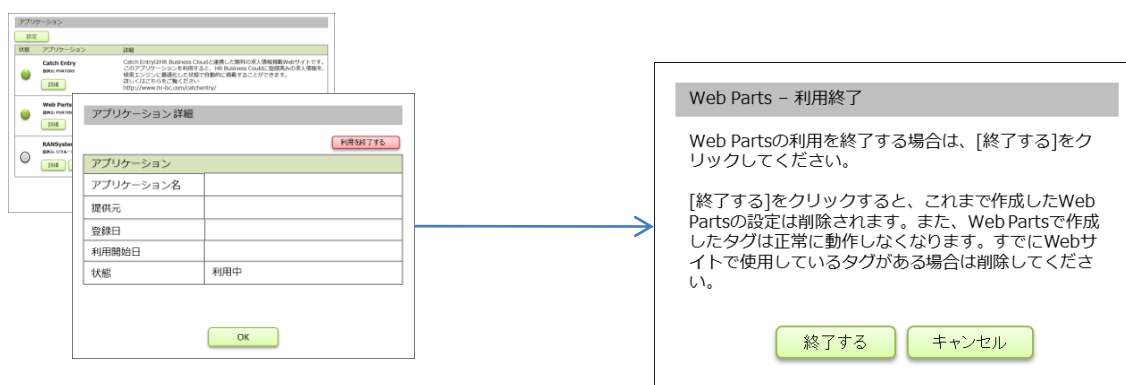
アプリケーションの利用を終了する場合、まず、アプリケーションメニューから利用を解除したいアプリケーションの[詳細]ボタンをクリックして[詳細]ダイアログを表示します。[詳細]ダイアログには、[利用を終了する]ボタンがあります。[利用を終了する]ボタンをクリックすると、アプリケーションは次のように呼び出されます。

<http://myapplication.com?unsubscribe>

※アプリケーション登録時に <http://myapplication.com> として登録していた場合

利用開始の場合と同様の方法で、利用終了を示すパラメータ unsubscribe が指定されているのがわかります。このパラメータが指定されたとき、ユーザーがアプリケーションの利用解除を行おうとしていると判断することができます。

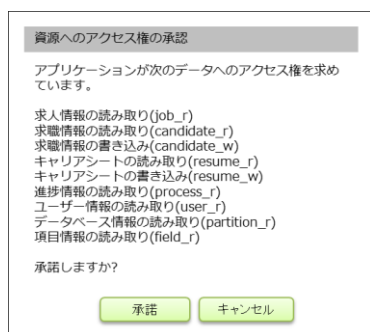
Unsubscribe のパラメータが指定されて呼び出された場合、アプリケーションは通常、アプリケーションの利用解除についての案内を表示することが推奨されます。特に「終了条件」等がある場合は、このタイミングで表示するのがよいでしょう。特に終了条件等、ユーザーに通知するものがない場合、そのまま次のステップに進むことができます。



アプリケーションの解除画面例

ここで[終了する]をクリックした場合、HRBC の認証サーバーからアクセス権を削除する必要があります。アクセス権を削除する場合は、oauth API の request_type に remove を指定して、アクセス権の削除を Request します。

削除の Request を受けた認証サーバーは、削除確認の画面を表示します。



認証サーバーによって表示された[利用権限削除画面]

削除が成功した場合は `remove_confirmation` に 0 が指定されてアプリケーションに Redirect されます。

`http://myapplication.com/callback?remove_confirmation=0&response_type=code`

削除が失敗した、またはユーザーによってキャンセルされた場合は -1 が指定されてアプリケーションに Redirect されま
す。

`http://myapplication.com/callback?remove_confirmation=-1&response_type=code`

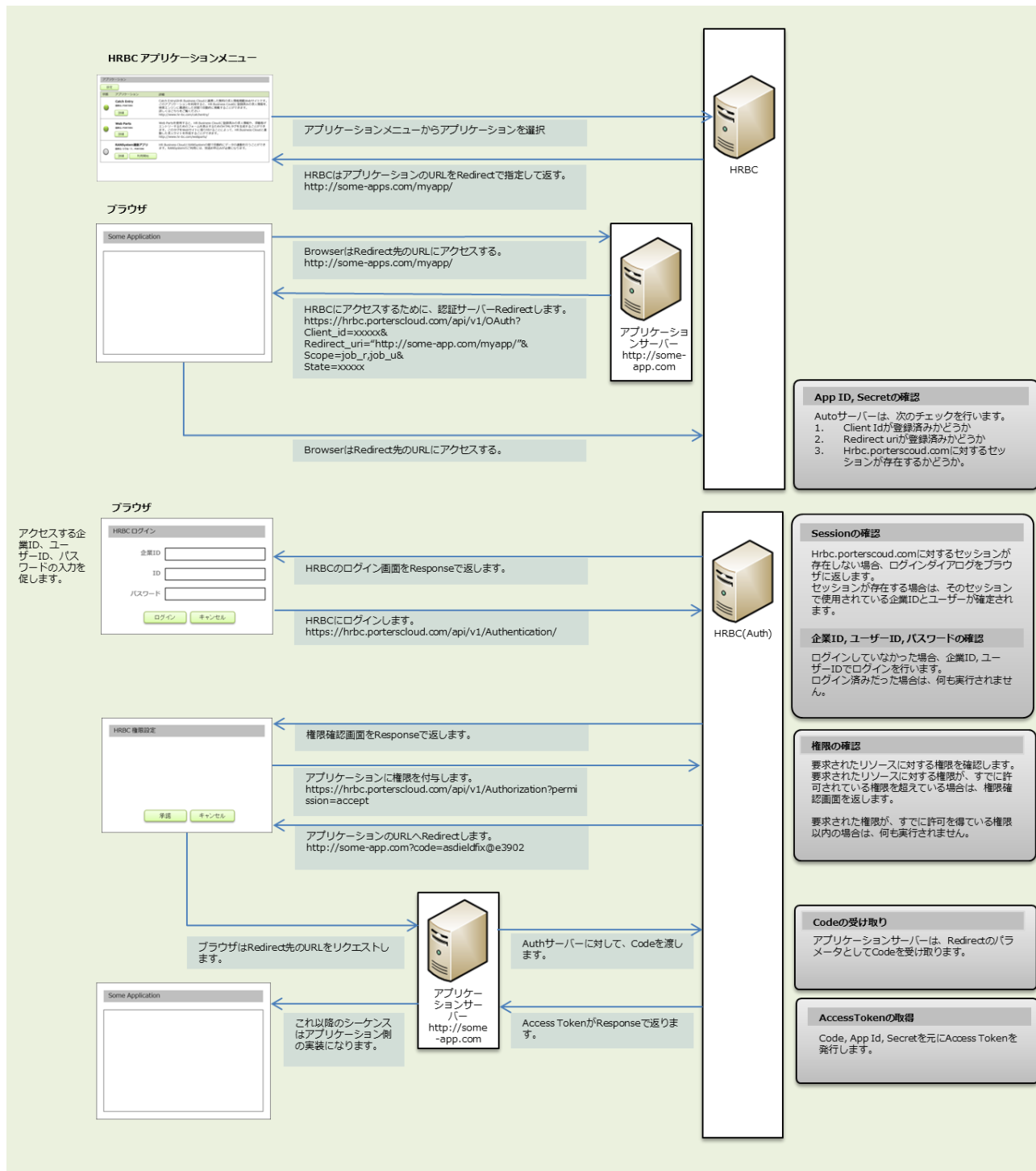
ここで、すべての資源に対するアクセス権が削除されると、アプリケーションの利用状態は[非利用]状態になります。

Authentication and Authorization

Steps for Authentication

Application Authentication Sequence 1

ブラウザを使用するアプリケーションの認証手続きは次の通りです。



Application Authentication Sequence 2

アプリケーションサーバー単体(response_type を code_direct で指定した場合)で動作する場合の認証手続きは次の通りです。

1. アプリケーションは、OAuth の End Point に対して認証のリクエストを GET で出します。
https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/oauth?response_type=code_direct&app_id=abcdefghijklmnopqrstuvwxy
2. 認証リクエストを受けた HRBC の OAuth サーバーは、呼び出し元に Response を返します。Response の Body には Code を含む XML が返ります。
3. アプリケーションは、受け取った Code を OAuth サーバーに対して POST で Access Token 取得の Request を送ります。
<https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/token>
4. HRBC の OAuth サーバーは、App Id, Secret, Code を照合します。成功した場合、Response として Access Token を受け取ることができます。
5. アプリケーションは受け取った Access Token を使用して HRBC API にアクセスできるようになります。

※ response_type=code_direct で認証方式を使う前に、アクセス対象の会社データに対して response_type=code を使用して権限を付与しておく必要があります。特定の会社データにアクセス権限を付与するためには、後述の「**Company DB にアクセス権を付与するには**」を参照してください。

Application Authentication Sequence for Refresh Token

1. アプリケーションは、OAuth の End Point に対して POST で Token の更新リクエストを発行します。
<https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/token>

更新リクエストを受け取った HRBC の OAuth サーバーは、Token の更新を行います。成功した場合は、新しい Access Token を含む XML が Response で返ります。

Company DB にアクセス権を付与するには

通常、ユーザーがアプリケーションを利用する場合、HRBC の [アプリケーション] メニューから利用開始しますが、[アプリケーション] メニューからアプリケーションの呼び出しができるようになるのは、ほとんどが開発の最終段階です。開発初期の段階で、API にアクセスできるようにするために、Web ブラウザで直接 oauth API を直接呼び出して、会社データへのアクセス権を付与する必要があります。

次の例では、Application Id=ABC、Secret=XYZ の場合で、Scope に candidate_r と user_r を付与し、http://porters.jp に Redirect する手順を説明します。

1. Web ブラウザで <https://hrbc-jp.porterscloud.com> にアクセスし、HRBC にログインしていないかを確認します。

HRBC のログイン画面以外の画面が表示される場合は、ログインしていることを示します。その場合は、必ずログアウトしておいてください。

2. HRBC にログインしていない状態で、次のような URL を Web ブラウザのアドレスバーに入力して実行します。

https://api-hrbc-

jp.porterscloud.com/v1/oauth?response_type=code&app_id=ABC&secret=XYZ&scope=candidate_r,user_r
&redirect_url=http://porters.jp

※redirect_url にはアプリケーション登録時に指定した URL を指定してください。それ以外の URL では正しく権限許可が動作しません。

3. HRBC のログイン画面が表示されますので、アプリケーションに対してアクセス権を付与したい会社 ID を入力してログインしてください。
4. 次に権限付与の画面が表示されます。Scope で指定したアクセス権を付与してよいかを確認する内容が表示されますので[承諾]をクリックしてください。

この手順が完了すると、アプリケーションは、許可を得た Company DB(=Partition)にアクセスできるようになります。

OAuth

Authentication API は Resource に対するアクセス権の取得機能を提供します。

oauth

OAuth を使って Application の認証リクエストを行います。

```
GET https://api-hrbc-
      jp.porterscloud.com/v1/oauth?app_id=[value]&redirect_url=[value]&scope=[value]&state=
      [value]&response_type=[value]
```

Input Variables

*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
app_id*	アプリケーション Id を数値で指定します。アプリケーション Id を取得するには、別途アプリケーションの登録を行っておく必要があります。
redirect_url*	Redirect 先、または Callback 先の URL を指定します。response_type に code_direct を指定した場合、redirect_url は指定する必要はありません。
scope*	アクセス権を取得する Resource の種類を指定します。指定できる Scope の定義については後述の Scope List を参照してください。複数指定する場合は、カンマ区切りで指定します。
state	任意のパラメータを指定できます。redirect_url で指定した URL に Redirect されるときに、state で指定した値を引き継いで取得することができます。
response_type*	認証のタイプを選択します。次の値を指定することができます。 code: code を使用した認証を行います。Web ブラウザを使用している Web アプリケーションの場合、この認証方式を使用します。 code_direct: code を使用した認証方式ですが、Web ブラウザを使用せず、サーバー間で直接認証を行う場合に使用します。この認証方式を選択するためには、PORTERS と特別な契約を行う必要がある場合があります。 remove: 既に取得しているアクセス権を削除する場合に使用します。

● response_type に code を指定する場合

- アプリケーションサーバーは、Web ブラウザからの Request に対して、oauth API の URL への Redirect の Response を送ります。
- Web ブラウザは、Redirect 先の oauth API へ Redirect します。
- この時ユーザーがログインしていない場合は、Redirect を受けた Authentication Server は、ログイン画面を表示してログインを促します。(既にログイン済みの場合は、この画面は表示されません)。
- 次に Authentication Server は、権限(scope)の確認を行います。アクセスしようとしているリソースに対して権限が不足している場合は、権限の確認画面が表示され、ユーザーに対してアクセスの承認を促します。(既に権限がみだされている場合は、この画面は表示されません)。
- ユーザーが同意した場合は、その code をパラメータに指定してアプリケーションを呼び出します。呼び出され

たアプリケーションは、この code を元にして token API を呼び出し、Access Token を取得してください。

[http://myapplication.com?response_type=code&code=\[some value\]](http://myapplication.com?response_type=code&code=[some value])

- **response_type に code_direct を指定する場合**

- アプリケーションサーバーは、response_type に code_direct を指定して、oauth API を直接呼び出します。
- アクセス元のホスト名が、アプリケーション登録時に登録したホスト名と同一であることを検証後、Response Body に次の書式で code を返却します。

```
<Authentication>
  <Code>3b7f6ee05bff9916b8e6e770ad5527c5</Code>
  <Error>0</Error>
  <Message>Success</Message>
</Authentication>
```

- アプリケーションは、code をパラメータに指定して token API を呼び出し、Access Token を取得してください。

- **response_type に remove を指定する場合**

- アプリケーションサーバーは、Web ブラウザからの Request に対して、oauth API の URL への Redirect の Response を送ります。
- Web ブラウザは、Redirect 先の oauth API へ Redirect します。
- この時ユーザーがログインしていない場合は、Redirect を受けた Authentication Server は、ログイン画面を表示してログインを促します。(既にログイン済みの場合は、この画面は表示されません)。
- 次に Authentication Server は、権限(scope)の削除の確認画面が表示されます。
- ユーザーが削除に同意し、権限の削除に成功した場合は、その結果を示すパラメータを付加してアプリケーションを呼び出します。

http://myapplication.com?response_type=remove&remove_confirmation=0

- **Code の有効期限**

- Code の有効期限は、発行後 30 秒です。30 秒以内に Access Token の Request を発行してください。

Scope List

oauth API では、次のうちの一つまたは複数の Scope を指定することができます。

Scope	Description
user_r	ユーザー情報の読み込み権限
partition_r	パーティション情報の読み込み権限
field_r	項目情報の読み込み権限
option_r	選択肢項目の読み込み権限
client_r	企業情報の読み込み権限
client_w	企業情報の書き込み権限
recruiter_r	企業担当者情報の読み込み権限
recruiter_w	企業担当者情報の書き込み権限

job_r	求人情報の読み込み権限
job_w	求人情報の書き込み権限
candidate_r	求職者情報の読み込み権限
candidate_w	求職者情報の書き込み権限
resume_r	求職者の求職情報の読み込み権限
resume_w	求職者の求職情報の書き込み権限
process_r	進捗情報の読み込み権限
process_w	進捗情報の書き込み権限
attachment_r	添付ファイルの読み込み権限
attachment_w	添付ファイルの書き込み権限

Token

token

Token を使って、Access Token を取得します。

POST <https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/token>

Input Variables

*は必須指定項目です。Request Body に以下のパラメータを URL Encode の形式で指定してください。

Parameter	Definition
grant_type*	Access Token を取得する場合は、“oauth_code”を指定します。Access Token を Refresh する場合は、“refresh_token”を指定します。
app_id*	アプリケーション ID を指定します。
secret*	シークレットを指定します。
code*	oauth API の呼び出しで取得した code を指定します。Access Token を Refresh する場合は、Access Token 取得時に同時に取得した Refresh Token の値を指定します。

Sample Input Parameter

URL Encode の形式で Request Body に指定してください。

grant_type=[value]&app_id=[value]&secret=[value]&code=[value]

[Access Token 取得時]

grant_type=oauth_code&code=cb8f8b18e5b008836443dd9530ab74f5&app_id=748407a080b880e20dff&secret=805b58991742237a57f6755318201a2c07ea2f8d

[Access Token の Refresh 時]

grant_type=refresh_token&code=21058d33c8169b17c63ee8e239bfc402&app_id=748407a080b880e20dff
&secret=805b58991742237a57f6755318201a2c07ea2f8d

※Token Method を使用する場合は、HTTP Header に Content-Type: application/x-www-form-urlencoded を指定してください。HTTP Header については、後述の「**HTTP Header**」を参照してください。

Output Values

Tag	Description
Authentication	認証情報を含むルート要素です
RefreshToken	Refresh Token
AccessToken	Access Token
RefreshTokenExpiresIn	RefreshToken の有効期限。ミリ秒単位で指定します。
AccessTokenExpiresIn	AccessToken の有効期限。ミリ秒単位で指定します。

Sample Output XML

```
<Authentication>
  <AccessToken>3dbd2f4bce0f147854bf0dff4b96eb4</AccessToken>
  <AccessTokenExpiresIn>1800000</AccessTokenExpiresIn>
  <RefreshToken>21058d33c8169b17c63ee8e239bfc402</RefreshToken>
  <RefreshTokenExpiresIn>7200000</RefreshTokenExpiresIn>
  <Error>0</Error>
  <Message>Success</Message>
</Authentication>
```

- Token の有効期限
 - Access Token の有効期限は通常 30 分です。
 - Refresh Token の有効期限は通常 2 時間です。

Error

Authentication および Authorization 時に発生するエラーについて解説します。

Error List

Authentication と Authorization では特有の Error Code が定義されています。その他の API とは Error Code とその後の処理方法等が異なりますので注意してください。

Code	Description
0	処理は成功しました。
-1	処理はキャンセルされました。
100	指定された redirect_url は無効です。
101	Redirect_url が指定されていません。
102	指定された scope は無効です。

103	指定された code は無効です。
104	指定された app_id は無効です。
105	指定された secret は無効です。
106	指定された Access Token は無効です。
117	Access Token が指定されていません。
400	Access Token の有効期限が切れています。
107	指定された Refresh Token は無効です。
401	Refresh Token の有効期限が切れています。
108	認証サーバーの内部エラーです。
109	セッション情報が取得できません(Cookie からセッション情報が取得できない)。
110	指定された response_type が無効です。
111	削除することのできる権限はありません。
112	指定された grant_type は無効です。
113	登録されたアプリケーションのサイトがありません。
114	ユーザーが見つかりません。
115	アクセスが拒否されました。
116	その情報にアクセスする権限はありません。

Output Sample

- **XML で Response が返却される場合は次の形式で出力されます。**

```
<Authentication>
  <Error>100</Error>
  <Message>Wrong redirect_url</Message>
</Authentication>
```

- **アプリケーションのサイトに Redirect される場合、次の形式で Error Code を受け取ることができます。**

http://myApplication.com/callback?response_type=code&error=100

Data Type and Format

Data Type & Format

HR Business Cloud で取り扱うことのできる項目のデータ型について解説します。

Data Type	Description
SinglelineText	一行の文字列を表します。
MultilineText	改行コードを含む複数行の文字列を表します。
Number	数値を表します。
Currency	通貨を表します。
DateTime	日付(年月日時分)を表します。 yyyy/mm/dd HH:MM:SS の書式のみサポートしています。指定された時刻は UTC として扱われます。
Date	日付(年月日)を表します。 yyyy/mm/dd の書式のみサポートしています。
Age	年齢を表します。値は Date 型と同じですが、現在日付から自動的に年齢を算出します。 yyyy/mm/dd の書式のみサポートしています。
Option	選択肢型。定義済みの選択肢から値を選択します。
Reference	他の Resource のデータを参照する場合はこの型を使用します。
URL	URL を表す文字列型。
Telephone	電話番号を表す文字列型。
Mail	メールアドレスを表す文字列型。

HTTP Header

X-porters-hrbc-oauth-token

GET や POST Method を利用する場合、OAuth の Access Token を HTTP Header に指定する必要があります。Access Token は次の書式で指定してください。

X-porters-hrbc-oauth-token: **[Access Token]**

ContentType

POST Method を利用して Request Body に XML を指定するような場合は、ContentType の指定が必要です。charset の指定も忘れずに行ってください。ほとんどの Write API はこの形式で指定します。現在サポートしている charset は UTF-8 のみです。

Content-Type: application/xml; charset=UTF-8

POST Method を利用して Request Body に URL Encode された文字列を指定するような場合は、ContentType の指定が必要です。認証で使用する Token API では、この形式で指定します。

Content-Type: application/x-www-form-urlencoded

Parameter

Read – Field

Read Method の Field の指定方法について解説します。

Field 句の指定方法は次のようになります。項目を複数指定する場合は、カンマで区切って指定します。

field=**[Field Name],[Field Name]**...

field=Job.P_User,Job.P_Position,Job.P_JobCategory

Reference 型の場合は、参照先の Field の Alias を()内に指定します。

field=**[Field Name]([Field Name],[Field Name]...)...**

field=Job.P_User(User.P_Id,User.P_Name),Job_Client(Client.P_Id)

Read – Condition

Read Method の Condition の指定方法について解説します。

Condition 句の指定方法は次のようになります。条件が複数ある場合は、カンマで区切って指定します。複数項目が指定された場合は、項目間は AND の条件になります。

condition=**[Field Name]:[Condition Suffix]=[Value],[Field Name]:[Condition Suffix]=[Value]**...

condition=Job.P_Id:ge=100,Job.P_UpdateDate:ge=2012/03/18%2000:00:00,Job.P_Position:part=プログラマ

Suffix for Number type

数値や日付の項目を条件に指定する場合、項目ごとに条件を指定することができます。

通常、次の Data Type の項目に対して使用することができます。

Number, Currency, DateTime, Date, Age

特に指定がない場合、Suffix を省略すると、eq が指定されたものとして動作します。

Suffix	Format	Description
gt	[Field Name]:gt=[Value]	[Field Name]は、[Value]より大きい ([Field Name]>[Value]) Job.P_MinSalary:gt=3000000

or	[Field Name]:or=[Value]	[Field Name]は、Value に指定した値を OR 条件で指定します。複数指定する場合はコロンで区切ります。Phase API の Id および ResourceId にしか使用できません。 ResourceId:or=10003:43405
ge	[Field Name]:ge=[Value]	[Field Name]は、[Value]以上である ([Field Name]>=[Value]) Job.P_MinSalary:ge=3000000
eq	[Field Name]:eq=[Value]	[Field Name]は、[Value]と等しい ([Field Name]=[Value]) Job.P_Id=100
le	[Field Name]:le=[Value]	[Field Name]は、[Value]以下である ([Field Name]<=[Value]) Job.P_MaxSalary:le=5000000
lt	[Field Name]:lt=[Value]	[Field Name]は、[Value]より小さい ([Field Name]<[Value]) Job.P_MaxSalary:lt=5000000

Suffix for Text type

文字列の項目を条件に指定する場合、項目ごとに条件を指定することができます。

通常、次の Data Type の項目に対して使用することができます。

SinglelineText, MultilineText, Telephone, Mail, URL

特に指定がない場合、Suffix を省略すると、part が指定されたものとして動作します。

Suffix	Format	Description
full	[Field Name]:full=[Value]	[Value]で指定した文字列に完全に一致する Job.P_Position:full=Programmer
part	[Field Name]:part=[Value]	[Value]で指定した文字列に部分一致する Job.P_Memo:part=短期

Suffix for Option type

選択枝の項目を条件に指定する場合、項目ごとに条件を指定することができます。

通常、次の Data Type の項目に対して使用することができます。

Option

特に指定がない場合、Suffix を省略すると or が指定されたものとして動作します。

Suffix	Format	Description
or	[Field Name]:or=[Value1]:[Value N]...	Value に指定した値を OR 条件で指定します。複数指定する場合はコロンで区切ります。

		Job.P_JobCategory:or=Option.P_SE:Option.P_PG
and	[Field Name]:and=[Value1]:[Value N]...	Value に指定した値を AND 条件で指定します。複数指定する場合はコロンで区切ります。 Job.P_JobCategory:and=Option.P_SE:Option.P_PG

Read – Keywords

Read Method の Keywords の指定方法について解説します。

取得するデータの条件をキーワードで指定します。通常、次の Data Type の項目が検索対象となります。

MultilineText、SinglelineText、Telephone、Mail、URL

複数のキーワードを指定したい場合は、カンマ(,)で区切ることによって、複数の条件を指定することができます。

列挙したキーワードは OR 指定されたものとして検索されます。AND 指定での検索はできません。

キーワードに指定できる文字数はカンマを含めて 100 文字までです。

Telephone 型の情報を検索する場合、キーワードとなる電話番号は数字のみにする（ハイフンを取り除くなど）必要があります。

Telephone 型以外の情報を検索する場合は

1. 大文字と小文字、タブとスペース、英数および以下で列挙される記号の全角と半角は区別せず検索が行われます。

!"#\$%&'()=-|¥^[@`}] * : + ; _ / ? . > , < ~ ` - ° 。 「 」 ・

2. 以下の各グループに属する記号は同一グループ内の記号と区別せず検索が行われます。

グループ1 “” “” “”

グループ2 “” “” “”

グループ3 ---

Read – Order

Read Method の Order の指定方法について解説します。

Order 句の指定方法は次のようになります。並び順を複数指定する場合は、カンマで区切って指定します。

Field Name として指定できるのは、対象の Resource の Field List で定義されている **Number**、**Currency**、**Age**、**Date**、**DateTime**、**System** のもののみです。

order=**[Field Name]:desc,[Field Name]:asc...**

order =Job.P_UpdateDate:desc,Job.P_RegistrationDate:desc

Suffix

Suffix	Format	Description
desc	[Field Name]:desc	[Field Name]に指定された項目の降順で出力します。 Job.P_UpdateDate:desc
asc	[Field Name]:asc	[Field Name]に指定された項目の昇順で出力します。 Job.P_UpdateDate:asc

XML Format

Read API

Standard Format

Read API で出力される標準的な XML の Format は次の通りです。

```
<Resource Name Total=N Count=N Start=N>
  <Code>Result Code</Code>
  <Item>
    <Alias>value</Alias>
  </Item>
</Resource Name>
```

<Item>タグは、Resource に所属する一つのデータの表し、条件に応じて 0 以上の<Item>タグが出力されます。

<Item>タグには、一つまたは複数の<Alias>タグが出力されます。

Number Type

Number 型項目の値が小数の場合は、小数点以下の桁数を指定して出力することはできません。保存された値と等しい桁数で出力されます。なお、小数点以下の桁数は最大 2 桁です。

Option Type

選択肢項目は次の書式になります。複数の選択肢が選択されている場合は、Option Alias (Root)タグの間に複数の Alias が出力されます。出力される Alias は末端の Alias です。ここでは親子関係は表現されません。

```
<Field Alias (Option Type)>
  <Option Alias (Root)>
    <Option Alias/>
    <Option Alias/>
  </Option Alias>
</Field Alias>
```

次のサンプルは、JOB の地域に対して、「東京」と「神奈川」が指定されている場合の出力例です。

```
<Job>
  <Item>
    <Job.P_Area>
      <Option.P_Area>
        <Option.P_Tokyo>
          <Option.P_Id>87</Option.P_Id>
        </Option.P_Tokyo>
        <Option.P_Kanagawa>
          <Option.P_Id>88</Option.P_Id>
        </Option.P_Kanagawa>
      </Option.P_Area>
    </Job.P_Area>
  </Item>
</Job>
```

Reference or System Type

Reference または System Type の項目は、出力する Field の設定に応じて、参照先の Resource に所属する項目が出力されます。出力 Field の設定方法は、「**Parameter Read – Field**」を参照してください。

<Field Alias (Reference or System Type)>

```
<Resource Name>
  <Resource Item>
    </Resource Item>
  </Resource Name>
</Field Alias>
```

次のサンプルは、JOB の所有者に対して、「鈴木 一郎」が設定されている場合の出力例です。

```
<Job>
  <Item>
    <Job.Owner>
      <User>
        <User.P_Id>1</User.P_Id>
        <User.P_Name>鈴木 一郎</User.P_Name>
      </User>
    </Job.Owner>
  </Item>
</Job>
```

System(User)の場合

User(ユーザー)を表す項目です。例えば、Client.P_Owner の場合、企業の所有者に指定されたユーザーを表します。この項目の参照先として指定できる項目は User Resource で定義されている Field です。指定された Field は<User>タグで括られます。Field の指定を省略した場合は、User.P_Id が指定されたものとして動作します。

System(Client)の場合

Client(企業)を表す項目です。この項目の参照先として指定できる項目は Client Resource で定義されている Field です。指定された Field は<Client>タグで括られます。Field の指定を省略した場合は、Client.P_Id が指定されたものとして動作します。

System(Recruiter)の場合

Recruiter(企業担当者)を表す項目です。この項目の参照先として指定できる項目は Recruiter Resource で定義されている Field です。指定された Field は<Recruiter>タグで括られます。Field の指定を省略した場合は、Recruiter.P_Id が指定されたものとして動作します。

System(Job)の場合

Job を表す項目です。この項目の参照先として指定できる項目は Job Resource で定義されている Field です。指定された Field は<Job>タグで括られます。Field の指定を省略した場合は、Job.P_Id が指定されたものとして動作します。

System(Candidate)の場合

Candidate(個人連絡先)を表す項目です。この項目の参照先として指定できる項目は Candidate Resource で定義されている Field です。指定された Field は<Person>タグで括られます。Field の指定を省略した場合は、Person.P_Id が指定

されたものとして動作します。

System(Resume)の場合

Resume(レジюме)を表す項目です。この項目の参照先として指定できる項目は Resume Resource で定義されている Field です。指定された Field は<Resume>タグで括られます。Field の指定を省略した場合は、Resume.P_Id が指定されたものとして動作します。

Image Type

Image 型項目の出力できるタグは FileName, ContentType と Content のみです。デフォルトの出力では、ファイル名のみ出力されます。その他のタグを出力する場合は、以下の書式で Image 型項目名の後に出力したいタグを括弧で括ります。

field_alias(tag1,tag2,...)

複数のタグを指定する場合は、コンマで区切ります。なお、画像型項目は Resource API の condition に指定できません。Reference 型による参照での取得もできません。

Output Values

出力値は XML 形式で取得できます

Tag	Definition
Content	Base64 Encode された画像ファイル。
ContentType	Content で指定するデータの種別を指定します。通常 Mime Type と同じ内容を示します。
FileName	画像のファイル名。

以下は画像型項目 Resume.U_A34FRT2AREOI3NB の例を示します。

Sample HTTP Request

<https://api-hrbc->

[jp.porterscloud.com/v1/resume?partition=123&field=Resume.U_A34FRT2AREOI3NB\(FileName,Content\)](https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/resume?partition=123&field=Resume.U_A34FRT2AREOI3NB(FileName,Content))

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Resume Total="12" Count="2" Start="0">
  <Code>0</Code>
  <Item>
    <Resume.U_A34FRT2AREOI3NB>
      <FileName>Image1.jpg</FileName>
      <ContentType>image/jpeg</ContentType>
    </Resume.U_A34FRT2AREOI3NB>
  </Item>
  <Item>
    <Resume.U_A34FRT2AREOI3NB>
      <FileName>Image3.jpg</FileName>
      <ContentType>image/jpeg</ContentType>
    </Resume.U_A34FRT2AREOI3NB>
  </Item>
</Resume>
```

</Resume>

Write API

Standard Format

Write API で指定できる標準的な XML の Format は次の通りです。

```

<Resource Name>
  <Item>
    <Alias>Value</Alias>
  </Item>
</Resource Name>

```

Number Type

Number 型項目の値が小数であり、なおかつ小数点以下の桁数が 3 桁以上の場合は、小数点 3 桁以下は切り捨て、新規作成あるいは更新されます。

Option Type

選択肢型の項目を指定する場合は次の書式で指定します。選択肢として指定できるのは、末端の Alias のみとなります。子供を持っている選択肢は指定することはできません。

```

<Field Alias>
  <Option Alias>
</Field Alias>

```

複数指定する場合は、Field Alias タグの間に Option Alias タグを複数指定します。

```

<Field Alias (Option Type)>
  <Option Alias1>
  <Option Alias2>
  <Option Alias3>
  <Option Alias4>
</Field Alias>

```

次のサンプルは、JOB の地域に対して、「東京」と「神奈川」を指定した例です。

```

<Job>
  <Item>
    <Job.P_Area>
      <Option.P_Tokyo/>
      <Option.P_Kanagawa/>
    </Job.P_Area>
  </Item>
</Job>

```

System Type

System Type の項目は、Id でのみ指定することができます。

```

<Field Alias (System Type)>
  Value
</Field Alias>

```

次のサンプルは、JOB の所有者に対して、Id が 1 の「鈴木 一郎」が指定されている場合の例です。

```
<Job>
  <Item>
    <Job.Owner>
      1
    </Job.Owner>
  </Item>
</Job>
```

System(User)の場合

User(ユーザー)を表す項目です。Write の場合、User.P_Id の値のみを指定することができます。

- **[Resource].P_Owner**: 所有者を表します。新規作成時には通常必須項目となります。
- **[Resource].P_RegisteredBy**: 登録者を表します。新規作成時に指定されていない場合は、現在アクセスしているアプリケーションのユーザーが自動的に割り当てられます。
- **[Resource].P_UpdatedBy**: 更新者を表します。指定されていない場合は、現在アクセスしているアプリケーションのユーザーが自動的に割り当てられます。

System(Client)の場合

Client(企業)を表す項目です。Write の場合、Client.P_Id の値のみを指定することができます。

System(Recruiter)の場合

Recruiter(企業担当者)を表す項目です。Write の場合、Recruiter.P_Id の値のみを指定することができます。

System(Job)の場合

Job を表す項目です。Write の場合、Job.P_Id の値のみを指定することができます。

System(Candidate)の場合

Candidate(個人連絡先)を表す項目です。Write の場合、Candidate.P_Id の値のみを指定することができます。

System(Resume)の場合

Resume(レジюме)を表す項目です。Write の場合、Resume.P_Id の値のみを指定することができます。

Image Type

Image 型の項目を新規登録・更新する場合は次の書式で指定します。

```
<Field Alias (Image Type)>
  <FileName>filename1</FileName>
  <ContentType>mime1</ContentType>
  <Content>content1</Content>
</Field Alias>
```

Tag	Definition
Content	Base64 Encode された画像ファイル。画像のサイズが 2MB を超えるものはサポートされません。
ContentType	Content で指定するデータの種類を指定します。通常 Mime Type と同じ内容を示します。
FileName	画像のファイル名。ファイル名はファイルの拡張子を含め、255 バイトを超える名称を指定することはできません。

以下は画像型項目 Resume.U_A34FRT2AREOI3NB の例を示します。

Sample Input XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Resume>
  <Item>
    <Resume.P_Id>-1</Resume.P_Id>
    <Resume.P_Owner>5</Resume.P_Owner>
    <Resume.P_Candidate>1001</Resume.P_Candidate>
    <Resume.P_Name>レジюме名称</Resume.P_Name>
    <Resume.U_A34FRT2AREOI3NB>
      <FileName>photo01.jpg</FileName>
      <ContentType>image/jpeg</ContentType>
      <Content>UESDBBQABgAI...</Content>
    </Resume.U_A34FRT2AREOI3NB>
  </Item>
  <Item>
    <Resume.P_Id>10347</Resume.P_Id>
    <Resume.P_Name>レジюмеの名称 2</Resume.P_Name>
    <Resume.U_A34FRT2AREOI3NB>
      <FileName>photo03.jpg</FileName>
      <ContentType>image/jpeg</ContentType>
      <Content>ADgXTSPCFgZX...</Content>
    </Resume.U_A34FRT2AREOI3NB>
  </Item>
</Resume>
```


Resource API

Partition

Partition API は、Partition に対するアクセスを提供します。

Read

Partition Read では、指定した条件に対応する Partition のリストを取得することができます。

```
GET https://api-hrbc-
jp.porterscloud.com/v1/partition?request_type=[value]&count=[value]&start=[value]
```

Scope

Partition Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

partition_r

Input Variables

*は必須指定項目です。

Parameter	Description
request_type	0 を指定すると、現在の Login している Partition の情報が取得できます。 1 を指定すると、現在の Access Token でアクセス可能な Partition のリストを取得できます。アプリの種類によって指定できるタイプが異なります。
count	取得するデータの件数を数値で指定します。 指定できる値の範囲は、1~200 までです。省略した場合は 10 が指定されたものとみなします。
start	取得するデータの開始インデックス。0 以上の値を数値で指定します。省略した場合は 0 が指定されたものとみなします。

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Parameter	Description
Partition	条件に該当する Partition を含むルート要素です。取得できたデータの数が Sount に、取得データのインデックスが Start に設定されます。Start は 0 から始まるインデックスです。
Total	Partition の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Start	Partition の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	Partition の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Item	一つの Partition 情報を表します。
Field	この Method で取得可能な項目。Field List を参照してください。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Partition Total="1" Count="1" Start="0">
  <Code>0</Code>
  <Item>
    <Partition.P_Id>100</Partition.P_Id>
    <Partition.P_Name>Company Name</Partition.P_Name>
    <Partition.P_CompanyId>My Company Id</Partition.P_CompanyId>
  </Item>
</Partition>
```

Field List**Field List**

Field Name	Data Type	Definition
Partition.P_Id	Number	パーティションの Id (企業 ID:数値)。
Partition.P_Name	Singleline Text	会社名
Partition.P_CompanyId	Singleline Text	会社 Id (ログイン時に使用する会社 ID)。

User

User API は、User に対するアクセスを提供します。

Read

User Read では、指定した条件に対応する User のリストを取得することができます。

```
GET https://api-hrbc-
jp.porterscloud.com/v1/user?request_type=[value]&partition=[value]&user_type=[value]&count=[value]&start=[value]
```

Scope

User Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

user_r

Input Variables

*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
request_type*	0 を指定すると、現在 Login している User の情報が取得できます。 1 を指定すると、すべての User を含むリストを取得できます。
partition*	Partition Id を数値で指定します。
count	取得するデータの件数を数値で指定します。 指定できる値の範囲は、1~200 までです。省略した場合は 10 が指定されたものとみなします。
start	取得するデータの開始インデックス。0 以上の値を数値で指定します。省略した場合は 0 が指定されたものとみなします。
user_type	-1 を指定するとすべての種類のユーザーが取得できます。※1 0 を指定すると「システム管理者」が取得できます。※2 1 を指定すると「標準ユーザー」が取得できます。※3

※1 「すべての種類のユーザー」とは、HRBC の[システム設定]-[ユーザー]で設定する[ユーザータイプ]が「標準ユーザー」および「システム管理者」を含むユーザーを示します。

※2 「システム管理者」とは、HRBC の[システム設定]-[ユーザー]で設定する[ユーザータイプ]が「システム管理者」のユーザーを示します。

※3 「標準ユーザー」とは、HRBC の[システム設定]-[ユーザー]で設定する[ユーザータイプ]が「標準ユーザー」のユーザーを示します。

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Parameter	Definition
User	条件に該当する User を含むルート要素です。取得できたデータの数 Count に、取得データのインデックスが Start に設定されます。Start は 0 から始まるインデックスです。
Item	一つの User 情報を表します。
Total	User の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Start	User の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	User の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Field	この Method で取得可能な項目。詳細は Field List を参照してください。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<User Total="2" Count="2" Start="0">
  <Item>
    <User.P_Id>100</User.P_Id>
    <User.P_Name>採用 太郎</User.P_Name>
    <User.P_Mail></User.P_Mail>
    <User.P_Type>0</User.P_Type>
  </Item>
  <Item>
    <User.P_Id>100</User.P_Id>
    <User.P_Name>採用 次郎</User.P_Name>
    <User.P_Mail></User.P_Mail>
    <User.P_Type>1</User.P_Type>
  </Item>
</User>
```

Field List**Field List**

Field Name	Data Type	Definition
User.P_Id	Number	ユーザーの Id。
User.P_Name	SinglelineText	ユーザーの名称。
User.P_Mail	Mail	ユーザーのメールアドレス。
User.P_Type	Number	ユーザーの種類 (0: 通常ユーザー, 1: システム管理者)

Field

Field API は、Resource の項目情報に対するアクセスを提供します。

Read

Field Read では、指定した条件に対応する Field のリストを取得することができます。

GET	https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/field?partition= [value] &resource= [value] &active= [value] &count= [value] &start= [value]
-----	---

Scope

Field Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

field_r

Input Variables

*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
partition*	Partition Id を数値で指定します。
resource*	Resource の種類を指定します。指定できる値は、 [Code Reference]-[Resource List] を参照してください。
count	取得するデータの件数を数値で指定します。 指定できる値の範囲は、1～200 までです。省略した場合は 10 が指定されたものとみなします。
start	取得するデータの開始インデックス。0 以上の値を数値で指定します。省略した場合は 0 が指定されたものとみなします。
active	使用中の項目のみを取得する場合は 1 を指定します。全ての項目を取得する場合は -1 を指定します。未使用の項目のみを取得する場合は 0 を指定します。

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Parameter	Definition
Field	条件に該当する Field を含むルート要素です。取得できたデータの数が Count に、取得データのインデックスが Start に設定されます。Start は 0 から始まるインデックスです。
Total	Field の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Start	Field の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	Field の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Item	一つの Field 情報を表します。

Field	この Method で取得可能な項目。詳細は Field List を参照してください。
Resource	要求した Resource の Id。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Field Total="2" Count="2" Start="0">
  <Item>
    <Field.P_Id>100</Field.P_Id>
    <Field.P_Name>ポジション名</Field.P_Name>
    <Field.P_Type>1</Field.P_Type>
    <Field.P_Max>100</Field.P_Max>
    <Field.P_Min>1</Field.P_Min>
  </Item>
  <Item>
    <Field.P_Id>101</Field.P_Id>
    <Field.P_Name>就業場所</Field.P_Name>
    <Field.P_Type>9</Field.P_Type>
    <Field.P_ReferTo>
      <Option.P_Area/>
    </Field.P_ReferTo>
  </Item>
</Field>
```

Field List**Field List**

Field Name	Data Type	Definition
Field.P_Id	Number	項目の Id
Field.P_Name	SinglelineText	項目の名称
Field.P_Type	Number	項目の種類 詳細は[Code Reference]-[Field Type List]を参照してください。
Field.P_Required	Number	入力必須(0 の場合は通常項目、1 の場合は入力必須項目)
Field.P_Max	Number	数値型の場合は最大値、文字型の場合は最大文字数
Field.P_Min	Number	数値型の場合は最小値、文字型の場合は最少文字数
Field.P_DecimalFraction	Number	少数以下の桁数
Field.P_ReferTo	SinglelineText	選択肢型の場合、その項目に関連づけられている選択肢の Alias。参照型の場合、その項目から参照している項目の Alias。
Field.P_Alias	SinglelineText	項目の Alias

Option

Option API は、Resource の選択肢情報に対するアクセスを提供します。

Read

Option Read では、指定した条件に対応する Option のリストを取得することができます。

GET	https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/option?partition=[value]&count=[value]&level=[value]&alias=[value]&self=[value]&enabled=[value]
-----	---

Scope

Option Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

option_r

Input Variables

*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
partition*	Partition Id を数値で指定します。通常は人材紹介会社の Id となります。
Count	取得するアイテムの最大数を指定します。指定されていない場合は、全アイテムを出力します。
Level	取得するアイテムの階層レベルを指定します。0 を指定すると、alias で指定されたアイテムの兄弟を出力されます。1 以上を指定した場合は、alias で指定された子供のアイテムが出力されます。-1 を指定した場合は、すべての階層を出力します。指定しない場合は、-1 が指定されたものとみなします。
Alias	取得するアイテムの alias を指定します。
Enabled	使用中のアイテムを取得する場合は、1 を指定します。未使用のアイテムを取得する場合は 0 を指定します。すべてのアイテムを取得する場合は、-1 を指定してください。指定しない場合は、-1 が指定されたものとみなします。

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Tag Name	Definition
Option	条件に該当する選択肢項目を含むルート要素です。
Code	処理結果を表すコード
Item	選択肢項目
Items	ネストした Item のコレクション
Field	この Method で取得可能な項目。詳細は Field List を参照してください。

Sample Output XML

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Option>
<Code>0</Code>
  <Item>
    <Option.P_Id>22</Option.P_Id>
    <Option.P_Name>性別</Option.P_Name>
    <Option.P_Alias>Option.P_Gender</Option.P_Alias>
    <Option.P_ParentId>0</Option.P_ParentId>
    <Option.P_Type>0</Option.P_Type>
    <Items>
      <Item>
        <Option.P_Id>52</Option.P_Id>
        <Option.P_Name>男</Option.P_Name>
        <Option.P_Alias>Option.P_Male</Option.P_Alias>
        <Option.P_ParentId>22</Option.P_ParentId>
        <Option.P_Type>0</Option.P_Type>
        <Items/>
      </Item>
      <Item>
        <Option.P_Id>53</Option.P_Id>
        <Option.P_Name>女</Option.P_Name>
        <Option.P_Alias>Option.P_Female</Option.P_Alias>
        <Option.P_ParentId>22</Option.P_ParentId>
        <Option.P_Type>0</Option.P_Type>
        <Items/>
      </Item>
    </Items>
  </Item>
</Option>

```

Field List**Field List**

Field Name	Data Type	Definition
Option.P_Id	Number	選択肢の ID
Option.P_Name	SinglelineText	選択肢の名称
Option.P_Alias	SinglelineText	選択肢のエイリアス
Option.P_ParentId	Number	親の ID
Option.P_Type	Number	選択肢のタイプ。特定の目的の選択肢の場合は 0 以外の値が設定されています。 0: 通常の見込み 1: レジュームのフェーズ 2: JOB のフェーズ 3: プロセスのフェーズ 4: アクティビティのフェーズ 5: 企業のフェーズ 6: 企業担当者のフェーズ

		7: 個人連絡先のフェーズ 8: 売上のフェーズ 9: 契約のフェーズ
Option.P_Order	Number	選択肢の並び順

Client

Client API は、Client Resource に対するアクセスを提供します。

Read

Client Read では、指定した検索条件に対応する Client のデータを取得することができます。

GET	<pre>https://api-hrbc- jp.porterscloud.com/v1/client?partition=[value]&count=[value]&start=[value]&keywords=[value,value...]&condition=[field=value,field=value...]&field=[value,value...]&order=[value,value...]</pre>
-----	---

Scope

Client Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

client_r, user_r, option_r

Input Variables

Parameter 間の条件は AND 指定されたものとして検索されます。*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
partition*	Partition Id を数値で指定します。通常は人材紹介会社の Id となります。
count	取得するデータの件数を数値で指定します。 指定できる値の範囲は、1~200 までです。省略した場合は 10 が指定されたものとみなします。
start	取得するデータの開始インデックス。0 以上の値を数値で指定します。
keywords	取得するデータの条件をキーワードで指定します。 詳細は「Read - Keywords」を参照してください。
condition	検索する条件を指定します。 詳細は「Read - Condition」を参照してください。 指定できる項目は後述の Field List を参照してください。
field	出力する項目を指定します。省略した場合は Client.P_Id が指定されたものとみなします。 詳細は「Read - Field」を参照してください。 指定できる Field については、後述の Field List を参照してください。 System 型と Option 型は、参照先のどの項目を取得するかを指定できます。
order	出力時のデータの並び順を指定します。 詳細は「Read - Order」を参照してください。 並び順に指定できる項目は Field List から選択できます。 何も指定しない場合は、Client.P_Id:asc が指定されたものとみなします

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

出力値は XML 形式で取得できます

Tag	Definition
Client	条件に該当する Client を含むルート要素です。取得できたデータの数が Count 属性に、取得データの Index が Start 属性に入ります。Start はデータの先頭からの 0 から始まる Index です。Client の一つずつを Item 要素として列挙します。
Total	Client の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Start	Client の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	Client の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Item	一つの Client 情報を表します。Field 要素を持ちます。
Field	指定された項目の値を格納します。要素の名称は、Field List を参照してください。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Client Total="12" Count="1" Start="0">
  <Code>0</Code>
  <Item>
    <Client.P_Id>100</Client.P_Id>
    <Client.P_Name>○×商事</Client.P_Name>
  </Item>
</Client>
```

Write

Client Write では、求人情報を新規に登録、または更新することができます。

POST [https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/client?partition=\[value\]](https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/client?partition=[value])

Input Variables

次の値を URL Parameter として指定できます。*は必須指定項目です。

URL Parameter	Definition
partition*	Partition の Id。

次の値を XML 形式で POST 時のデータブロックに指定できます。

Tag	Definition
Client	Client データを表すルート要素。
Item	一つの Client 情報を表します。
Field	項目と値を指定します。項目については、Field List を参照してください。

Sample Input XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
```

```

<Client>
  <Item>
    <Client.P_Id>-1</Client.P_Id>
    <Client.P_Owner>1</Client.P_Owner>
    <Client.P_Name>ポーターズ株式会社</Client.P_Name>
  </Item>
  <Item>
    <Client.P_Id>10022</Client.P_Id>
    <Client.P_Name>木村商店</Client.P_Name>
    <Client.P_ServiceType>
      <Option.P_ServiceTypeOutplacement/>
    </Client.P_ServiceType>
  </Item>
</Client>

```

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Parameter	Definition
Client	Client データを表すルート要素。
Item	一つの Client 情報を表します。
Id	更新または新規登録された Client の Id。
Code	処理結果を表すアプリケーションステータス

Sample Output XML

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Client>
  <Item>
    <Id>10023</Id>
    <Code>0</Code>
  </Item>
  <Item>
    <Id>10022</Id>
    <Code>0</Code>
  </Item>
</ Client >

```

Field List

Field List

次のリストは Client Resource に関する主要な項目について解説しています。その他の項目については、「**Appendix – 初期項目と選択肢**」を参照してください。

● は新規作成時の必須項目です。● は更新時の必須項目です。

Field Name	Data Type	Definition
Client.P_Id●●	System(ID)	ID。新規作成時には-1 を指定します。更新時には更新対象の ID を指定します。

Client.P_Owner●	System(User)	企業の所有者。詳細は「XML Format」を参照してください。
Client.P_RegistrationDate	DateTime	データ登録日。新規作成時に指定されていない場合は、自動的に登録日時が指定されます。
Client.P_RegisteredBy	System(User)	データ登録者。詳細は「XML Format」を参照してください。
Client.P_UpdateDate	DateTime	データ更新日。指定されていない場合は、自動的に更新日時が指定されます。
Client.P_UpdatedBy	System(User)	データ更新者。詳細は「XML Format」を参照してください。
Client.U_[Name]		ユーザーが作成した項目。 Name には通常システムによって付与された名称が指定されます。
Client.A_[Name]		アプリケーションが作成した項目。 Name には通常アプリケーションによって付与された名称が指定されます。

Recruiter

Recruiter API は、Recruiter に対するアクセスを提供します。

Read

Recruiter Read では、指定した条件に対応する企業担当者のリストを取得することができます。

```
GET https://api-hrbc-
jp.porterscloud.com/v1/recruiter?partition=[value]&count=[value]&start=[value]&keywords
=[value,value...]&condition=[field=value,field=value...]&field=[value,value...]&order=[
value,value...]
```

Scope

Recruiter Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

recruiter_r, client_r, user_r, option_r

Input Variables

*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
partition*	Partition Id を数値で指定します。
count	取得するデータの件数を数値で指定します。 指定できる値の範囲は、1～200 までです。省略した場合は 10 が指定されたものとみなします。
start	取得するデータの開始インデックス。0 以上の値を数値で指定します。
keywords	取得するデータの条件をキーワードで指定します。 詳細は「Read - Keywords」を参照してください。
condition	検索する条件を指定します。 詳細は「Read - Condition」を参照してください。 指定できる項目は後述の Field List を参照してください。
field	出力する項目を指定します。省略した場合は Recruiter.P_Id が指定されたものとみなします。 詳細は「Read - Field」を参照してください。 指定できる Field については、後述の Field List を参照してください。 System 型と Option 型は、参照先のどの項目を取得するかを指定できます。
order	出力時のデータの並び順を指定します。 詳細は「Read - Order」を参照してください。 並び順に指定できる項目は Field List から選択できます。 何も指定しない場合は、Recruiter.P_Id:asc が指定されたものとみなします

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

出力値は XML 形式で取得できます

Parameter	Definition
Recruiter	条件に該当する Recruiter を含むルート要素です。取得できたデータの数が Count 属性に、取得データの Index が Start 属性に入ります。Start はデータの先頭からの 0 から始まる Index です。Recruiter の一つずつを Item 要素として列挙します。
Start	Recruiter の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	Recruiter の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Total	Recruiter の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Item	一つの Recruiter 情報を表します。Field 要素を持ちます。
Field	指定された項目の値を格納します。要素の名称は、Field List を参照してください。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Recruiter Total="14" Count="2" Start="0">
  <Code>0</Code>
  <Item>
    <Recruiter.P_Id>1234</Recruiter.P_Id>
    <Recruiter.P_Name>テストリクルーター1 </Recruiter.P_Name>
    <Recruiter.P_UpdatedBy>
      <User>
        <User.P_Id>1</User.P_Id>
        <User.P_Name>テストエージェント1 </User.P_Name>
      </User>
    </Recruiter.P_UpdatedBy>
  </Item>
  <Item>
    <Recruiter.P_Id>1235<Recruiter.P_Id>
    <Recruiter.P_Name>テストリクルーター2 </Recruiter.P_Name>
    <Recruiter.P_UpdatedBy>
      <User>
        <User.P_Id>2</User.P_Id>
        <User.P_Name>テストエージェント2 </User.P_Name>
      </User>
    </Recruiter.P_UpdatedBy>
  </Item>
</Recruiter>
```

Write

Recruiter Write では、企業担当者情報を新規に登録、または更新することができます。

POST [https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/recruiter?partition=\[value\]](https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/recruiter?partition=[value])

Scope

Recruiter Write を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

recruiter_w

Input Variables

次の値を URL Parameter として指定できます。*は必須指定項目です。

URL Parameter	Definition
partition*	Partition の Id。

次の値を XML 形式で POST 時のデータブロックに指定できます。*は必須指定項目です。

Tag	Definition
Recruiter	Recruiter データを表すルート要素。
Item	一つの Recruiter 情報を表します。
Field	項目と値を指定します。項目については、Field List を参照してください。

Sample Input XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Recruiter>
  <Item>
    <Recruiter.P_Id>-1</Recruiter.P_Id>
    <Recruiter.P_Name>テスト名前</Recruiter.P_Name>
    <Recruiter.P_Reading>テストフリガナ</Recruiter.P_Reading>
    <Recruiter.P_Client>10001</Recruiter.P_Client>
    <Recruiter.P_Owner>1</Recruiter.P_Owner>
  </Item>
  <Item>
    <Recruiter.P_Id>20001</Recruiter.P_Id>
    <Recruiter.P_Name>テスト名前 2 </Recruiter.P_Name>
    <Recruiter.P_Reading>テストフリガナ 2</Recruiter.P_Reading>
  </Item>
</Recruiter>
```

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Parameter	Definition
Recruiter	Recruiter データを表すルート要素。
Item	一つの Recruiter 情報を表します。
Id	更新または新規登録された Recruiter の Id。
Code	処理結果を表すアプリケーションステータス

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Recruiter>
  <Item>
    <Id>20005</Id>
    <Code>0</Code>
  </Item>
  <Item>
    <Id>20001</Id>
    <Code>0</Code>
  </Item>
</Recruiter>
```

Field List**Field List**

次のリストは Recruiter Resource に関する主要な項目について解説しています。その他の項目については、「**Appendix**

– **初期項目と選択肢**」を参照してください。

●は新規作成時の必須項目です。●は更新時の必須項目です。

Field Name	Data Type	Definition
Recruiter.P_Id●●	System(ID)	ID。新規作成時には-1 を指定します。更新時には更新対象の ID を指定します。
Recruiter.P_Owner●	System(User)	リクルーターの所有者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Recruiter.P_Client●	System(Client)	企業。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Recruiter.P_RegistrationDate	DateTime	データ登録日。新規作成時に指定されていない場合は、自動的に登録日時が指定されます。
Recruiter.P_RegisteredBy	System(User)	データ登録者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Recruiter.P_UpdateDate	DateTime	データ更新日。指定されていない場合は、自動的に更新日時が指定されます。
Recruiter.P_UpdatedBy	System(User)	データ更新者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Recruiter.U_ [Name]		ユーザーが作成した項目。 Name には通常システムによって付与された名称が指定されます。
Recruiter.A_ [Name]		アプリケーションが作成した項目。 Name には通常アプリケーションによって付与された名称が指定されます。

Job

JOB API は、JOB Resource に対するアクセスを提供します。

Read

Job Read では、指定した検索条件に対応する Job のデータを取得することができます。

GET

```
https://api-hrbc-
jp.porterscloud.com/v1/job?partition=[value]&count=[value]&start=[value]&keywords=[val
ue,value...]&condition=[field=value,field=value...]&field=[value,value...]&order=[value,
value...]
```

Scope

Job Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

job_r, recruiter_r, client_r, user_r, option_r

Input Variables

Parameter 間の条件は AND 指定されたものとして検索されます。*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
partition*	Partition Id を数値で指定します。通常は人材紹介会社の Id となります。
count	取得するデータの件数を数値で指定します。 指定できる値の範囲は、1~200 までです。省略した場合は 10 が指定されたものとみなします。
start	取得するデータの開始インデックス。0 以上の値を数値で指定します。省略した場合は 0 が指定されたものとみなします。
keywords	取得するデータの条件をキーワードで指定します。 詳細は「Read – Keywords」を参照してください。
condition	検索する条件を指定します。 詳細は「Read – Condition」を参照してください。 指定できる項目は後述の Field List を参照してください。
field	出力する項目を指定します。省略した場合は Job.P_Id が指定されたものとみなします。 詳細は「Read – Field」を参照してください。 指定できる Field については、後述の Field List を参照してください。 System 型と Option 型は、参照先のどの項目を取得するかを指定できます。
order	出力時のデータの並び順を指定します。 詳細は「Read – Order」を参照してください。 並び順に指定できる項目は Field List から選択できます。 何も指定しない場合は、Job.P_Id:asc が指定されたものとみなします

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

出力値は XML 形式で取得できます

Parameter	Definition
Job	条件に該当する JOB を含むルート要素です。取得できたデータの数に Count 属性に、取得データの Index が Start 属性に入ります。Start はデータの先頭からの 0 から始まる Index です。JOB の一つずつを Item 要素として列挙します。
Total	Job の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Start	Job の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	Job の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Item	一つの JOB 情報を表します。Field 要素を持ちます。
Field	指定された項目の値を格納します。要素の名称は、Field List を参照してください。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Job Total="5" Count="2" Start="0">
  <Code>0</Code>
  <Item>
    <Job.P_Id>1234</Job.P_Id>
    <Job.P_Position>テストポジション 1 </Job.P_Position>
    <Job.P_UpdatedBy>
      <User>
        <User.P_Id>1</User.P_Id>
        <User.P_Name>テストエージェント 1</User.P_Name>
      </User>
    </Job.P_UpdatedBy>
  </Item>
  <Item>
    <Job.P_Id>1235</Job.P_Id>
    <Job.P_Position>テストポジション 2</Job.P_Position>
    <Job.P_UpdatedBy>
      <User>
        <User.P_Id>2</User.P_Id>
        <User.P_Name>テストエージェント 2</User.P_Name>
      </User>
    </Job.P_UpdatedBy>
  </Item>
</Job>
```

Write

Job Write では、指定した求人情報を新規に登録、または更新することができます。

POST [https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/job?partition=\[value\]](https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/job?partition=[value])

Scope

Job Write を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

job_w

Input Variables

次の値を URL Parameter として指定できます。*は必須指定項目です。

URL Parameter	Definition
partition*	Partition の Id。

次の値を XML 形式で POST 時のデータブロックに指定できます。*は必須指定項目です。

Tag	Definition
Job	Job データを表すルート要素。
Item	一つの Job 情報を表します。
Field	項目と値を指定します。項目については、Field List を参照してください。

Sample Input XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Job>
  <Item>
    <Job.P_Id>-1</Job.P_Id>
    <Job.P_Owner>1</Job.P_Owner>
    <Job.P_Client>10002</Job.P_Client>
    <Job.P_Recruiter>10010</Job.P_Recruiter>
    <Job.P_Position>テストポジション名登録</Job.P_Position>
  </Item>
  <Item>
    <Job.P_Id>10001</Job.P_Id>
    <Job.P_Position>テストポジション名更新</Job.P_Position>
  </Item>
</Job>
```

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Parameter	Definition
Job	Job データを表すルート要素。
Item	一つの Job 情報を表します。
Id	更新または新規登録された Job の Id。
Code	処理結果を表すアプリケーションステータス

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Job>
  <Item>
    <Id>20002</Id>
    <Code>0</Code>
  </Item>
  <Item>
    <Id>10001</Id>
    <Code>0</Code>
  </Item>
</Job>
```

Field List**Field List**

次のリストは Job Resource に関する主要な項目について解説しています。その他の項目については、「**Appendix – 初期項目と選択肢**」を参照してください。

●は新規作成時の必須項目です。●は更新時の必須項目です。

Field Name	Data Type	Definition
Job.P_Id●●	System(ID)	ID。新規作成時には-1 を指定します。更新時には更新対象の ID を指定します。
Job.P_Owner●	System(User)	JOB の所有者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Job.P_Client●	System(Client)	企業。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Job.P_Recruiter●	System(Recruiter)	企業担当者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Job.P_RegistrationDate	Date Time	データ登録日。新規作成時に指定されていない場合は、自動的に登録日時が指定されます。
Job.P_RegisteredBy	System(User)	データ登録者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Job.P_UpdateDate	DateTime	データ更新日。指定されていない場合は、自動的に更新日時が指定されます。
Job.P_UpdatedBy	System(User)	データ更新者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Job.U_ [Name]		ユーザーが作成した項目。 Name には通常システムによって付与された名称が指定されます。
Job.A_ [Name]		アプリケーションが作成した項目。 Name には通常アプリケーションによって付与された名称が指定されます。

Candidate

Candidate API は、Candidate Resource に対するアクセスを提供します。

Read

Candidate Read では、指定した検索条件に対応する Client のデータを取得することができます。

GET	<pre>https://api-hrbc- jp.porterscloud.com/v1/candidate?partition=[value]&count=[value]&start=[value]&keywords =[value,value...]&condition=[field=value,field=value...]&field=[value,value...]&order=[v alue,value...]</pre>
-----	--

Scope

Candidate Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

candidate_r, user_r, option_r

Input Variables

Parameter 間の条件は AND 指定されたものとして検索されます。*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
partition*	Partition Id を数値で指定します。通常は人材紹介会社の Id となります。
count	取得するデータの件数を数値で指定します。 指定できる値の範囲は、1~200 までです。省略した場合は 10 が指定されたものとみなします。
start	取得するデータの開始インデックス。0 以上の値を数値で指定します。省略した場合は 0 が指定されたものとみなします。
keywords	取得するデータの条件をキーワードで指定します。 詳細は「Read - Keywords」を参照してください。
condition	検索する条件を指定します。 詳細は「Read - Condition」を参照してください。 指定できる項目は後述の Field List を参照してください。
field	出力する項目を指定します。省略した場合は Person.P_Id が指定されたものとみなします。 詳細は「Read - Field」を参照してください。 指定できる Field については、後述の Field List を参照してください。 System 型と Option 型は、参照先のどの項目を取得するかを指定できます。
order	出力時のデータの並び順を指定します。 詳細は「Read - Order」を参照してください。 並び順に指定できる項目は Field List から選択できます。 何も指定しない場合は、Person.P_Id:asc が指定されたものとみなします

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

出力値は XML 形式で取得できます

Parameter	Definition
Candidate	条件に該当する Candidate を含むルート要素です。取得できたデータの数が count 属性に、取得データの Index が start 属性に入ります。start はデータの先頭からの 0 から始まる Index です。Candidate の一つずつを item 要素として列挙します。
Total	Candidate の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Start	Candidate の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	Candidate の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Item	一つの Candidate 情報を表します。Field 要素を内包します。
Field	指定された項目の値を格納します。要素の名称は、Field List を参照してください。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Candidate Total="12" Count="2" Start="10">
  <Code>0</Code>
  <Item>
    <Person.P_Id>1234</Person.P_Id>
    <Person.P_Name>テスト企業 1 </Person.P_Name>
    <Person.P_UpdatedBy>
      <User>
        <User.P_Id>11</User.P_Id>
        <User.P_Name>テストエージェント 1 </User.P_Name>
      </User>
    </Person.P_UpdatedBy>
  </Item>
  <Item>
    <Person.P_Id>1235</Person.P_Id>
    <Person.P_Name>テスト企業 2 </Person.P_Name>
    <Person.P_UpdatedBy>
      <User>
        <User.P_Id>12</User.P_Id>
        <User.P_Name>テストエージェント 2</User.P_Name>
      </User>
    </Person.P_UpdatedBy>
  </Item>
</Candidate>
```

Write

Candidate Write では、指定した Candidate を新規に登録、または更新することができます。

POST [https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/candidate?partition=\[value\]](https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/candidate?partition=[value])

Scope

Candidate Write を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

candidate_w

Input Variables

次の値を URL Parameter として指定できます。*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
partition*	Partition の Id。

次の値を XML 形式で POST 時のデータブロックに指定できます。*は必須指定項目です。

Tag	Definition
Candidate	Candidate の Root 要素。
Item	一つの Candidate 情報を表します。
Person.P_Id*	-1 を指定した場合は、新規に Candidate の Item を作成します。値を指定した場合は、指定した ID を持つ Candidate を更新します。存在しない ID を指定した場合はエラーとなります。
Person.P_Owner*	User の Id (User.P_Id) を指定します。
Fields	指定できるパラメータについては後述の Field List を参照してください。

Sample Input XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Candidate>
  <Item>
    <Person.P_Id>1001</Person.P_Id>
    <Person.P_Owner>1</Person.P_Owner>
    <Person.P_Name>鈴木 一郎</Person.P_Name>
    <Person.P_Reading>すずき いちろう</Person.P_Reading>
  </Item>
  <Item>
    <Person.P_Id>1002</Candidate.P_Id>
    <Person.P_Owner>10</Person.P_Owner>
    <Person.P_Name>山田 太郎</Candidate.P_Name>
    <Person.P_Reading>やまだ たろう</Candidate.P_Reading>
  </Item>
</Candidate>
```

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

処理結果は、Response Header に HTTP の Status Code が格納されます。API 側の Status は XML 形式で取得することができます。

Parameter	Definition
Candidate	Candidate データを表すルート要素。
Item	一つの Candidate 情報を表します。
Id	更新または新規登録された Candidate の Id。
Code	処理結果を表すアプリケーションステータス

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Candidate>
  <Item>
    <Id>10001<Id>
    <Code>0</Code>
  </Item>
  <Item>
    <Id>10002<Id>
    <Code>0</Code>
  </Item>
</Candidate>
```

Field List

Field List

次のリストは Candidate Resource に関する主要な項目について解説しています。その他の項目については、「**Appendix** – 初期項目と選択肢」を参照してください。

●は新規作成時の必須項目です。●は更新時の必須項目です。

Field Name	Data Type	Definition
Person.P_Id●●	System(ID)	Id。Read、Write とともに必須となります。
Person.P_Owner●	System(User)	個人連絡先の所有者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Person.P_RegistrationDate	DateTime	データ登録日。新規作成時に指定されていない場合は、自動的に登録日時が指定されます。
Person.P_RegisteredBy	System(User)	データ登録者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Person.P_UpdateDate	DateTime	データ更新日。指定されていない場合は、自動的に更新日時が指定されます。
Person.P_UpdatedBy	System(User)	データ更新者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Person.U_ [Name]		ユーザーが作成した項目。 Name には通常システムによって付与された名称が指定されます。
Person.A_ [Name]		アプリケーションが作成した項目。 Name には通常アプリケーションによって付与された名称が指定されます。

Resume

Resume API は、Resume Resource に対するアクセスを提供します。

Read

Resume Read では、指定した検索条件に対応する Resume のデータを取得することができます。

GET	<pre>https://api-hrbc- jp.porterscloud.com/v1/resume?partition=[value]&count=[value]&start=[value]&keywords= [value,value...]&condition=[field=value,field=value...]&field=[value,value...]&order=[val ue,value...]</pre>
-----	---

Scope

Resume Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

resume_r, candidate_r, user_r, option_r

Input Variables

Parameter 間の条件は AND 指定されたものとして検索されます。*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
partition*	Partition Id を数値で指定します。通常は人材紹介会社の Id となります。
count	取得するデータの件数を数値で指定します。 指定できる値の範囲は、1~200 までです。省略した場合は 10 が指定されたものとみなします。
start	取得するデータの開始インデックス。0 以上の値を数値で指定します。省略した場合は 0 が指定されたものとみなします。
keywords	取得するデータの条件をキーワードで指定します。 詳細は「Read - Keywords」を参照してください。
condition	検索する条件を指定します。 詳細は「Read - Condition」を参照してください。 指定できる項目は後述の Field List を参照してください。
field	出力する項目を指定します。省略した場合は Resume.P_Id が指定されたものとみなします。 詳細は「Read - Field」を参照してください。 指定できる Field については、後述の Field List を参照してください。 System 型と Option 型は、参照先のどの項目を取得するかを指定できます。
order	出力時のデータの並び順を指定します。 詳細は「Read - Order」を参照してください。 並び順に指定できる項目は Field List から選択できます。 何も指定しない場合は、Resume.P_Id:asc が指定されたものとみなします

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

出力値は XML 形式で取得できます

Parameter	Definition
Resume	条件に該当する Resume を含むルート要素です。取得できたデータの数が count 属性に、取得データの Index が start 属性に入ります。start はデータの先頭からの 0 から始まる Index です。Resume の一つずつを item 要素として列挙します。
Start	Resume の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	Resume の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Total	Resume の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Item	一つの Resume 情報を表します。Field 要素を内包します。
Field	指定された項目の値を格納します。要素の名称は、Field List を参照してください。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Resume Total="12" Count="2" Start="0">
  <Code>0</Code>
  <Item>
    <Resume.P_Id>1234</Resume.P_Id>
    <Resume.P_Name>レジユメの名称 1</Resume.P_Name>
    <Resume.P_UpdatedBy>
      <User>
        <User.P_Id>1</User.P_Id>
        <User.P_Name>採用 太郎</User.P_Name>
      </User>
    </Resume.P_UpdatedBy>
  </Item>
  <Item>
    <Resume.P_Id>1234</Resume.P_Id>
    <Resume.P_Name>レジユメの名称 2</Resume.P_Name>
    <Resume.P_UpdatedBy>
      <User>
        <User.P_Id>1</User.P_Id>
        <User.P_Name>採用 次郎</User.P_Name>
      </User>
    </Resume.P_UpdatedBy>
  </Item>
</Resume>
```

Write

Resume Write では、指定した Resume を新規に登録、または更新することができます。

POST [https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/resume?partition=\[value\]](https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/resume?partition=[value])

Scope

Resume Write を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

resume_w

Input Variables

次の値を URL Parameter として指定できます。*は必須指定項目です。

URL Parameter	Definition
partition*	Partition の Id。

次の値を XML 形式で POST 時のデータブロックに指定できます。*は必須指定項目です。

Tag	Definition
Resume	Resume の Root 要素。
Item	一つの Resume の情報を表します。
Resume.P_Id	-1 を指定した場合は、新規に Resume の Item を作成します。値を指定した場合は、指定した ID を持つ Resume を更新します。存在しない ID を指定した場合はエラーとなります。
Resume.P_Candidate*	Resume が結びつく Candidate の Id を指定します。Resume を新規に登録する場合(Resume.P_Id に-1 を指定したとき)は必ず指定します。
Resume.P_Owner*	User の Id (User.P_Id) を指定します。
Fields	指定できるパラメータについては後述の Field List を参照してください。

Sample Input XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Resume>
  <Item>
    <Resume.P_Id>-1</Resume.P_Id>
    <Resume.P_Owner>5</Resume.P_Owner>
    <Resume.P_Candidate>1001</Resume.P_Candidate>
    <Resume.P_Name>レジюме名称</Resume.P_Name>
  </Item>
  <Item>
    <Resume.P_Id>100</Resume.P_Id>
    <Resume.P_Name>レジюмеの名称</Resume.P_Name>
  </Item>
</Resume>
```

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Parameter	Definition
Resume	Resume データを表すルート要素。
Item	一つの Resume 情報を表します。

Id	更新または新規登録された Resume の Id。
Code	処理結果を表すアプリケーションステータス

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Resume>
  <Item>
    <Id>10001</Id>
    <Code>0</Code >
  </Item>
  <Item>
    <Id>10002</Id>
    <Code>0</Code>
  </Item>
</Resume>
```

Field List

Field List

次のリストは Resume Resource に関する主要な項目について解説しています。その他の項目については、「**Appendix** – 初期項目と選択肢」を参照してください。

●は新規作成時の必須項目です。●は更新時の必須項目です。

Field Name	Data Type	Definition
Resume.P_Id ● ●	System(ID)	ID
Resume.P_Owner ●	System(User)	レジユメの所有者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Resume.P_Candidate ●	System(Candidate)	個人連絡先氏名。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Resume.P_RegistratonDate	DateTime	データ登録日。新規作成時に指定されていない場合は、自動的に登録日時が指定されます。
Resume.P_RegisteredBy	System(User)	データ登録者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Resume.P_UpdateDate	DateTime	データ更新日。指定されていない場合は、自動的に更新日時が指定されます。
Resume.P_UpdatedBy	System(User)	データ更新者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Resume.U_ [Name]		ユーザーが作成した項目。 Name には通常システムによって付与された名称が指定されます。
Resume.A_ [Name]		アプリケーションが作成した項目。 Name には通常アプリケーションによって付与された名称が指定されます。

Process

Process API は、Process Resource に対するアクセスを提供します。

Read

Process Read では、指定した検索条件に対応する Process のデータを取得することができます。

GET

```
https://api-hrbc-
jp.porterscloud.com/v1/process?partition=[value]&count=[value]&start=[value]&keywords=
[value,value...]&condition=[field=value,field=value...]&field=[value,value...]&order=[val
ue,value...]
```

Scope

Process Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

process_r, candidate_r, resume_r, client_r, recruiter_r, job_r, user_r, option_r

Input Variables

Parameter 間の条件は AND 指定されたものとして検索されます。*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
partition*	Partition Id を数値で指定します。通常は人材紹介会社の Id となります。
count	取得するデータの件数を数値で指定します。 指定できる値の範囲は、1~200 までです。省略した場合は 10 が指定されたものとみなします。
start	取得するデータの開始インデックス。0 以上の値を数値で指定します。
keywords	取得するデータの条件をキーワードで指定します。 詳細は「Read - Keywords」を参照してください。
condition	検索する条件を指定します。 詳細は「Read - Condition」を参照してください。 指定できる項目は後述の Field List を参照してください。
field	出力する項目を指定します。省略した場合は Process.P_Id が指定されたものとみなします。 詳細は「Read - Field」を参照してください。 指定できる Field については、後述の Field List を参照してください。 System 型と Option 型は、参照先のどの項目を取得するかを指定できます。
order	出力時のデータの並び順を指定します。 詳細は「Read - Order」を参照してください。 並び順に指定できる項目は Field List から選択できます。 指定しない場合は、Process.P_Id:asc が指定されたものとみなします

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Parameter	Definition
process	条件に該当する Process を包括します。取得できたデータの数が count 属性に、取得データの Index が start 属性に入ります。start はデータの先頭からの Index です。Page 番号ではありません。 Process の一つずつを item 要素として列挙します。item 要素の下に、Partition、field 要素が列挙されます
Total	Process の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Start	Process の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	Process の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Item	Process 一つ分の情報を格納します。Field 要素を内包します。
field	指定された項目の値を格納します。要素の名称は、Field List を参照してください。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Process Total="2" Count="2" Start="0">
  <Code>0</Code>
  <Item>
    <Process.P_Id>1</Process.P_Id>
    <Process.P_Phase>
      <Option.P_JobOpen>
        <Option.P_Id>100</Option.P_Id>
      </Option.P_JobOpen>
    <Process.P_Phase>
    <Process.P_UpdatedBy>
      <User>
        <User.P_Id>1</User.P_Id>
        <User.P_Name>採用 太郎</User.P_Name>
      </User>
    </Process.P_UpdatedBy>
  </Item>
  <Item>
    <Process.P_Id>2</Process.P_Id>
    <Process.P_Phase>
      <Option.P_Interview1>
        <Option.P_Id>101</Option.P_Id>
      </Option.P_Interview1>
    <Process.P_Phase>
    <Process.P_UpdatedBy>
      <User>
        <User.P_Id>1</User.P_Id>
        <User.P_Name>採用 次郎</User.P_Name>
      </User>
    </Process.P_UpdatedBy>
  </Item>
</Process >
```

Write

Process Write では、指定した進捗情報を新規に登録、または更新することができます。

POST [https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/process?partition=\[value\]](https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/process?partition=[value])

Scope

Process Write を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

process_w

Input Variables

URL Parameter	Definition
partition*	Partition の Id。

次の値を XML 形式で POST 時のデータブロックに指定できます。*は必須指定項目です。

Tag	Definition
Process	Process データを表すルート要素。
Item	一つの Process 情報を表します。
Field	項目と値を指定します。項目については、Field List を参照してください。

Sample Input XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Process>
  <Item>
    <Process.P_Id>-1</Process.P_Id>
    <Process.P_Owner>1</Process.P_Owner>
    <Process.P_Client>10001</Process.P_Client>
    <Process.P_Recruiter>10002</Process.P_Recruiter>
    <Process.P_Job>10005</Process.P_Job>
    <Process.P_Candidate>10009</Process.P_Candidate>
    <Process.P_Resume>10010</Process.P_Resume>
    <Process.P_Phase><Option.P_ProcessMatching/></Process.P_Phase>
    <Process.P_PhaseDate>2012/01/01 00:00:00</Process.P_PhaseDate>
  </Item>
  <Item>
    <Process.P_Id>10001</Process.P_Id>
    <Process.P_Phase><Option.P_ProcessInterview1/></Process.P_Phase>
    <Process.P_PhaseDate>2012/02/02 00:00:00</Process.P_PhaseDate>
  </Item>
</Process>
```

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Parameter	Definition
Process	Process データを表すルート要素。

Item	一つの Process 情報を表します。
Id	更新または新規登録された Process の Id。
Code	処理結果を表すアプリケーションステータス

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Process>
  <Item>
    <Id>10007<Id>
    <Code>0</Code>
  </Item>
  <Item>
    <Id>10001<Id>
    <Code>0</Code>
  </Item>
</Process>
```

Field List

Field List

次のリストは Process Resource に関する主要な項目について解説しています。その他の項目については、「**Appendix – 初期項目と選択肢**」を参照してください。

●は新規作成時の必須項目です。●は更新時の必須項目です。

Field Name	Data Type	Definition
Process.P_Id●●	System(ID)	選考プロセスの ID を示します。
Process.P_Owner●	System(Owner)	選考プロセスの所有者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Process.P_Client●	System(Client)	企業。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Process.P_Recruiter●	System(Recruiter)	企業担当者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Process.P_Job●	System(Job)	JOB。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Process.P_Candidate●	System(Candidate)	個人連絡先。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Process.P_Resume●	System(Resume)	レジューメ。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Process.P_RegistrationDate	DateTime	データ登録日。新規作成時に指定されていない場合は、自動的に登録日時が指定されます。
Process.P_RegisteredBy	System(User)	データ登録者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Process.P_UpdateDate	DateTime	データ更新日。指定されていない場合は、自動的に更新日時が指定されます。
Process.P_UpdatedBy	System(User)	データ更新者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。

Process.U_ [Name]		ユーザーが作成した項目。 Name には通常システムによって付与された名称が指定されます。
Process.A_ [Name]		アプリケーションが作成した項目。 Name には通常アプリケーションによって付与された名称が指定されます。

Activity

Activity API は、Activity Resource に対するアクセスを提供します。

Read

Activity Read では、指定した検索条件に対応する Activity のデータを取得することができます。

```
GET https://api-hrbc-
jp.porterscloud.com/v1/activity?partition=[value]&start=[value]&keywords=[value,value..
.&condition=[field=value,field=value...]&field=[value,value...]&order=[value,value...]
```

Scope

Activity Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

activity_r, client_r, recruiter_r, job_r, candidate_r, resume_r, process_r, sales_r, user_r, option_r

Input Variables

Parameter 間の条件は AND 指定されたものとして検索されます。*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
partition*	Partition の Id を数値で指定します。通常は人材紹介会社の Id となります。
count	取得するデータの件数を数値で指定します。 指定できる値の範囲は、1~200 までです。省略した場合は 10 が指定されたものとみなします。
start	取得するデータの開始インデックス。0 以上の値を数値で指定します。省略した場合は 0 が指定されたものとみなします。
keywords	取得するデータの条件をキーワードで指定します。 詳細は「Read - Keywords」を参照してください。
condition	検索する条件を指定します。 詳細は「Read - Condition」を参照してください。 指定できる項目は後述の Field List を参照してください。
field	出力する項目を指定します。省略した場合は Job.P_Id が指定されたものとみなします。 詳細は「Read - Field」を参照してください。 指定できる Field については、後述の Field List を参照してください。 System 型と Option 型は、参照先のどの項目を取得するかを指定できます。
order	出力時のデータの並び順を指定します。 詳細は「Read - Order」を参照してください。 並び順に指定できる項目は Field List から選択できます。 何も指定しない場合は、Activity.P_Id:asc が指定されたものとみなします。省略した場合は、Activity.P_Id:asc が指定されたものとみなします。

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

出力値は XML 形式で取得できます。

Tag	Definition
Activity	条件に該当する Activity を含むルート要素です。取得できたデータの数 count 属性に、取得データの Index が start 属性に入ります。start はデータの先頭からの 0 から始まる Index です。Activity の一つずつを item 要素として列挙します。
Start	Activity の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	Activity の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Total	Activity の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Item	一つの Activity 情報を表します。Field 要素を内包します。
Field	指定された項目の値を格納します。要素の名称は、Field List を参照してください。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Activity Total="12" Count="2" Start="10">
  <Code>0</Code>
  <Item>
    <Activity.P_Id>1</Activity.P_Id>
    <Activity.P_Resource>3</Activity.P_Resource>
    <Activity.P_ResourceId>
      <Job>
        <Job.P_Id>10001</Job.P_Id>
      </Job>
    </Activity.P_ResourceId>
    <Activity.P_Title>サンプルアクティビティ 1</Activity.P_Id>
    <Activity.P_EventParticipants>
      <User>
        <User.P_Id>1</User.P_Id>
        <User.P_Name>サンプルエージェント 1</User.P_Name>
      </User>
    </Activity.P_EventParticipants>
  </Item>
  <Item>
    <Activity.P_Id>2</Activity.P_Id>
    <Activity.P_Resource>3</Activity.P_Resource>
    <Activity.P_ResourceId>
      <Job>
        <Job.P_Id>10002</Job.P_Id>
      </Job>
    </Activity.P_ResourceId>
    <Activity.P_Title>サンプルアクティビティ 2</Activity.P_Id>
    <Activity.P_EventParticipants>
      <User>
        <User.P_Id>2</User.P_Id>
        <User.P_Name>サンプルエージェント 2</User.P_Name>
      </User>
    </Activity.P_EventParticipants>
  </Item>
</Activity>
```

```

<User>
  <User.P_Id>3</User.P_Id>
  <User.P_Name>サンプルエージェント 3</User.P_Name>
</User>
</Activity.P_EventParticipants>
</Item>
</Activity>

```

Write

Activity Write では、指定した活動情報を新規に登録、または更新することができます。

POST [https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/activity?partition=\[value\]](https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/activity?partition=[value])

Scope

Activity Write を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

activity_w

Input Variables

次の値を URL Parameter として指定できます。*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
partition*	Partition の Id。

次の値を XML 形式で POST 時のデータブロックに指定できます。*は必須指定項目です。

Tag	Definition
Activity	Activity データを表すルート要素です。
Item	一つの Activity 情報を表します。
Field	項目と値を指定します。項目については、Field List を参照してください。

新規登録および更新における注意点

- Activity.P_ToDate を指定する場合、次の関係式が成り立つように指定してください。

Activity.P_FromDate <= Activity.P_ToDate

- Activity.P_EventParticipants は次のように指定してください。

例：

```

<Activity.P_EventParticipants>
  <User.P_Id>1</User.P_Id>
</Activity.P_EventParticipants>

```

複数指定する場合は、次のように ID を複数指定してください。

例：

```

<Activity.P_EventParticipants>
  <User.P_Id>1</User.P_Id>
  <User.P_Id>2</User.P_Id>
  <User.P_Id>3</User.P_Id>
</Activity.P_EventParticipants>

```

Sample XML

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Activity>
  <Item>
    <Activity.P_Id>-1</Activity.P_Id>
    <Activity.P_Owner>1</Activity.P_Owner>
    <Activity.P_Resource>3</Activity.P_Resource>
    <Activity.P_ResourceId>10005</Activity.P_ResourceId>
    <Activity.P_Phase>
      <Option.P_ActivityMatching/>
    </Activity.P_Phase>
    <Activity.P_PhaseDate>2014/01/01 00:00:00</Activity.P_PhaseDate>
    <Activity.P_EventParticipants>
      <User.P_Id>1</User.P_Id>
    </Activity.P_EventParticipants>
  </Item>
  <Item>
    <Activity.P_Id>10006</Activity.P_Id>
    <Activity.P_Phase>
      <Option.P_ActivityInterview1/>
    </Activity.P_Phase>
    <Activity.P_PhaseDate>2014/01/20 00:00:00</Activity.P_PhaseDate>
    <Activity.P_EventParticipants>
      <User.P_Id>1</User.P_Id>
      <User.P_Id>2</User.P_Id>
      <User.P_Id>3</User.P_Id>
    </Activity.P_EventParticipants>
  </Item>
</Activity>

```

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Parameter	Definition
Activity	Activity データを表すルート要素。
Item	一つの Activity 情報を表します。
Id	更新または新規登録された Activity の Id。
Code	処理結果を表すアプリケーションステータス

Sample Output XML

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Activity>
  <Item>
    <Id>11782<Id>
    <Code>0</Code >
  </Item>
  <Item>
    <Id>10006<Id>
    <Code>0</Code >
  </Item>
</Activity>

```

Field List

Field List

次のリストは Activity Resource に関する主要な項目について解説しています。その他の項目については、「**Appendix – 初期項目と選択肢**」を参照してください。

●は新規作成時の必須項目です。●は更新時の必須項目です。

Field Name	Data Type	Definition
Activity.P_Id●●	System(ID)	ID。新規作成時には-1を指定します。更新時には更新対象のIDを指定します。
Activity.P_Owner●	System(User)	アクティビティの所有者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Activity.P_Title●	SinglelineText	アクティビティの件名。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Activity.P_RegistrationDate	DateTime	データ登録日。自動的に登録日時が指定されます。
Activity.P_RegisteredBy	System(User)	データ登録者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Activity.P_UpdateDate	DateTime	データ更新日。自動的に更新日時が指定されます。
Activity.P_UpdatedBy	System(User)	データ更新者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Activity.U_ [Name]		ユーザーが作成した項目。 Name には通常システムによって付与された名称が指定されます。
Activity.A_ [Name]		アプリケーションが作成した項目。 Name には通常アプリケーションによって付与された名称が指定されます。

Contract

Contract API は、Contract Resource に対するアクセスを提供します。

Read

Contract Read では、指定した条件に対応する Contract のデータを取得することができます。

```
GET https://api-hrbc-
jp.porterscloud.com/v1/contract?partition=[value]&start=[value]&keywords=[value,value...
]&condition=[field=value,field=value...]&field=[value,value...]&order=[value,value...]
```

Scope

Contract Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

contract_r, client_r, user_r, option_r

Input Variables

Parameter 間の条件は AND 指定されたものとして検索されます。*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
partition*	Partition の Id を数値で指定します。通常は人材紹介会社の Id となります。
count	取得するデータの件数を数値で指定します。指定できる値の範囲は、1~200 までです。省略した場合は 10 が指定されたものとみなします。
start	取得するデータの開始インデックス。0 以上の値を数値で指定します。
keywords	取得するデータの条件をキーワードで指定します。 詳細は「Read - Keywords」を参照してください。
condition	検索する条件を指定します。 詳細は「Read - Condition」を参照してください。 指定できる項目は後述の Field List を参照してください。
field	出力する項目を指定します。省略した場合は Contract.P_Id が指定されたものとみなします。 詳細は「Read - Field」を参照してください。 指定できる Field については、後述の Field List を参照してください。 System 型と Option 型は、参照先のどの項目を取得するかを指定できます。
order	出力時のデータの並び順を指定します。 詳細は「Read - Order」を参照してください。 並び順に指定できる項目は Field List から選択できます。 何も指定しない場合は、Contract.P_Id:asc が指定されたものとみなします

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

出力値はXML形式で取得できます。

Tag	Definition
Contract	条件に該当する Contract を含むルート要素です。取得できたデータの数に Count 属性に、取得データの Index が Start 属性に入ります。Start はデータの先頭からの 0 から始まる Index です。Contract の一つずつを Item 要素として列挙します。
Total	Contract の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Start	Contract の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	Contract の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Item	一つの Contract 情報を表します。Field 要素を持ちます。
Field	指定された項目の値を格納します。要素の名称は、Field List を参照してください。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Contract Total="12" Count="2" Start="10">
  <Code>0</Code>
  <Item>
    <Contract.P_Id>10031</Contract.P_Id>
    <Contract.P_Client>
      <Client>
        <Client.P_Id>101</Client.P_Id>
      </Client>
    </Contract.P_Client>
    <Contract.P_Name>サンプル契約 1</Contract.P_Name>
    <Contract.P_ContractorType>
      <Option.P_ConstructorType1>
        <Option.P_Id>162</Option.P_Id>
        <Option.P_Name>1号 ソフトウェア開発の業務</Option.P_Name>
      </Option.P_ConstructorType1>
    </Contract.P_ContractorType>
  </Item>
  <Item>
    <Contract.P_Id>10079</Contract.P_Id>
    <Contract.P_Client>
      <Client>
        <Client.P_Id>102</Client.P_Id>
      </Client>
    </Contract.P_Client>
    <Contract.P_Title>サンプル契約 2</Contract.P_Id>
    <Contract.P_ContractorType>
      <Option.P_ConstructorType2>
        <Option.P_Id>163</Option.P_Id>
        <Option.P_Name>2号 機械設計の業務</Option.P_Name>
      </Option.P_ConstructorType2>
    </Contract.P_ContractorType>
  </Item>
</Contract>
```

Write

Contract Write では、契約情報を新規に登録、または更新することができます。

POST [https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/contract?partition=\[value\]](https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/contract?partition=[value])

Scope

Contract Write を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

contract_w

Input Variables

次の値を URL Parameter として指定できます。*は必須指定項目です。

URL Parameter	Definition
partition*	Partition の Id。

次の値を XML 形式で POST 時のデータブロックに指定できます。

Tag	Definition
Contract	Contract データを表すルート要素です。
Item	一つの Contract 情報を表します。
Field	項目と値を指定します。項目については、Field List を参照してください。

新規登録および更新における注意点

1. Contract.P_StartDate と Contract.P_EndDate を指定する場合、次の関係式が成り立つように指定してください。
Contract.P_StartDate <= Contract.P_EndDate
2. Contract.P_ContractorStartDate と Contract.P_ContractorEndDate を指定する場合、次の関係式が成り立つように指定してください。
Contract.P_ContractorStartDate <= Contract.P_ContractorEndDate

Sample Input XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Contract>
  <Item>
    <Contract.P_Id>-1</Contract.P_Id>
    <Contract.P_Client>103</Contract.P_Client>
    <Contract.P_Name>サンプル契約 3 </Contract.P_Name>
    <Contract.P_ContractorType>
      <Option.P_ConstructorType3/>
    </Contract.P_ContractorType>
  </Item>
  <Item>
    <Contract.P_Id>10004</Contract.P_Id>
    <Contract.P_EndDate>2014/01/31</Contract.P_EndDate>
  </Item>
</Contract>
```

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取

得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Tag	Definition
Contract	Contract データを表すルート要素です。
Item	一つの Contract 情報を表します。
Id	新規登録または更新された Contract の Id。
Code	処理結果を表すアプリケーションステータス

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Contract>
  <Item>
    <Id>11003</Id>
    <Code>0</Code >
  </Item>
  <Item>
    <Id>10004</Id>
    <Code>0</Code >
  </Item>
</Contract>
```

Field List

Field List

次のリストは Contract Resource に関する主要な項目について解説しています。その他の項目については、「**Appendix**

– **初期項目と選択肢**」を参照してください。

●は新規作成時の必須項目です。●は更新時の必須項目です。

Field Name	Data Type	Definition
Contract.P_Id●●	System(ID)	ID。新規作成時には-1 を指定します。更新時には更新対象の ID を指定します。
Contract.P_Client●	System(Client)	企業。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Contract.P_RegistrationDate	DateTime	データ登録日。自動的に登録日時が指定されます。
Contract.P_RegisteredBy	System(User)	データ登録者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Contract.P_UpdateDate	DateTime	データ更新日。自動的に更新日時が指定されます。
Contract.P_UpdatedBy	System(User)	データ更新者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Contract.U_ [Name]		ユーザーが作成した項目。 Name には通常システムによって付与された名称が指定されます。
Contract.A_ [Name]		アプリケーションが作成した項目。 Name には通常アプリケーションによって付与された名称が指定されます。

Sales

Sales API では、Sales Resource に対するアクセスを提供します。

Read

Sales Read では、指定した検索条件に対応する Sales のデータを取得することができます。

GET	<pre>https://api-hrbc- jp.porterscloud.com/v1/sales?partition=[value]&start=[value]&count=[value]&keywords=[v alue,value...]&condition=[field=value,field=value...]&field=[value,value...]&order=[valu e,value...]</pre>
-----	--

Scope

Sales Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

sales_r, client_r, candidate_r, resume_r, job_r, recruiter_r, user_r, option_r

Input Variables

Parameter 間の条件は AND 指定されたものとして検索されます。*は必須指定項目です。

Parameter	Definition
partition*	Partition Id を数値で指定します。通常は人材紹介会社の Id となります。
count	取得するデータの件数を数値で指定します。 指定できる値の範囲は、1~200 までです。省略した場合は 10 が指定されたものとみなします。
start	取得するデータの開始インデックス。0 以上の値を数値で指定します。省略した場合は 0 が指定されたものとみなします。
keywords	取得するデータの条件をキーワードで指定します。 詳細は「Read - Keywords」を参照してください。
condition	検索する条件を指定します。 詳細は「Read - Condition」を参照してください。 指定できる項目は後述の Field List を参照してください。
field	出力する項目を指定します。省略した場合は Sales.P_Id が指定されたものとみなします。 詳細は「Read - Field」を参照してください。 指定できる Field については、後述の Field List を参照してください。 System 型と Option 型は、参照先のどの項目を取得するかを指定できます。
order	出力時のデータの並び順を指定します。 詳細は「Read - Order」を参照してください。 並び順に指定できる項目は Field List から選択できます。 何も指定しない場合は、Sales.P_Id:asc が指定されたものとみなします

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

出力値は XML 形式で取得できます

Tag	Definition
Sales	条件に該当する Sales を含むルート要素です。取得できたデータの数が count 属性に、取得データの Index が start 属性に入ります。start はデータの先頭からの 0 から始まる Index です。Sales の一つずつを item 要素として列挙します。
Start	Sales の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	Sales の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Total	Sales の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Item	一つの Sales 情報を表します。Field 要素を内包します。
Field	指定された項目の値を格納します。要素の名称は、Field List を参照してください。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Sales Total="12" Count="2" Start="10">
  <Code>0</Code>
  <Item>
    <Sales.P_Id>14763</Sales.P_Id>
    <Sales.P_Resume>
      <Resume>
        <Resume.P_Id>10531</Resume.P_Id>
      </Resume>
    </Sales.P_Resume>
  </Item>
  <Item>
    <Sales.P_Id>23455</Sales.P_Id>
    <Sales.P_Resume>
      <Resume>
        <Resume.P_Id>222</Resume.P_Id>
      </Resume>
    </Sales.P_Resume>
  </Item>
</Sales>
```

Write

Sales Write では、指定した売上情報を新規に登録、または更新することができます。

POST [https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/sales?partition=\[value\]](https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/sales?partition=[value])

Scope

Sales Write を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

sales_w

Input Variables

次の値を URL Parameter として指定できます。*は必須指定項目です。

URL Parameter	Definition
partition*	Partition の Id。

次の値を XML 形式で POST 時のデータブロックに指定できます。*は必須指定項目です。

Tag	Definition
Sales	Sales の Root 要素。
Item	一つの Sales の情報を表します。
Sales.P_Id	-1 を指定した場合は、新規に Sales の Item を作成します。値を指定した場合は、指定した ID を持つ Sales を更新します。存在しない ID を指定した場合はエラーとなります。
Field	指定できるパラメータについては後述の Field List を参照してください。

新規登録および更新における注意点

1) 売上情報を登録する際、次の依存関係は常に成り立っています。

Sales.P_Job -> Sales.P_Recruiter -> Sales.P_Client <- Sales.P_Contract

A -> B は A は B の下位リソースを意味します。下位リソースを新規登録・更新する際、再帰的にそのリソースの上位リソースも登録しなければなりません。したがって、Sales.P_Recruiter を新規登録・更新する場合は、Sales.P_Client も同時に新規登録・更新しなければなりません。Sales.P_Recruiter だけでは新規登録・更新できません。同じように Sales.P_Job を新規登録・更新する場合は Sales.P_Recruiter と Sales.P_Client の新規登録・更新も必要になります。なお、これらの項目の値をクリアする場合、上位リソースをクリアすると、下位リソースも合わせてクリアする必要があります。例えば、Sales.P_Recruiter をクリアする際、Sales.P_Job もクリアしなければなりません。

2) Sales.P_Candidate と Sales.P_Resume を新規登録する際、両方指定する必要があり、整合性がチェックされます。更新する際で、片方しか指定されなかった場合、指定された項目の値と未指定の項目の更新される前の値で整合性がチェックされます。

Sample Input XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Sales>
  <Item>
    <Sales.P_Id>-1</Sales.P_Id>
    <Sales.P_Resume>10002</Sales.P_Resume>
    <Sales.P_Candidate>10010</Sales.P_Candidate>
    <Sales.P_Client>13076</Sales.P_Client>
  </Item>
  <Item>
    <Sales.P_Id>10006</Sales.P_Id>
    <Sales.P_Resume>10027</Sales.P_Resume>
  </Item>
</Sales>
```

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Tag	Definition
Sales	Sales データを表すルート要素。
Item	一つの Sales 情報を表します。
Id	更新または新規登録された Sales の Id。
Code	処理結果を表すアプリケーションステータス

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Sales>
  <Item>
    <Id>11782</Id>
    <Code>0</Code >
  </Item>
  <Item>
    <id>10006</Id>
    <Code>0</Code >
  </Item>
</Sales>
```

Field List**Field List**

次のリストは Sales Resource に関する主要な項目について解説しています。その他の項目については、「**Appendix – 初期項目と選択肢**」を参照してください。

●は新規作成時の必須項目です。●は更新時の必須項目です。

Field Name	Data Type	Definition
Sales.P_Id ●●	System(ID)	ID
Sales.P_Owner	System(User)	売上の所有者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Sales.P_RegistratonDate	DateTime	データ登録日。自動的に登録日時が指定されます。
Sales.P_RegisteredBy	System(User)	データ登録者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Sales.P_UpdateDate	DateTime	データ更新日。自動的に更新日時が指定されます。
Sales.P_UpdatedBy	System(User)	データ更新者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
Sales.U_ [Name]		ユーザーが作成した項目。 Name には通常システムによって付与された名称が指定されます。

Sales.A_ [Name]		アプリケーションが作成した項目。 Name には通常アプリケーションによって付与された名称が指定されます。
------------------------	--	--

Phase

Phase API ではリソースの Phase に対するアクセスを提供します。

Read

Read では、指定した検索条件に対応する Resource の Phase データを取得することができます。

GET

```
https://api-hrbc-
jp.porterscloud.com/v1/phase?partition=[value]&resource=[value]&resourceId=[value]&id=[v
alue]&field=[value,value,...]&condition=[field=value,field=value...]&order=[value,value,...]&co
unt=[value]&start=[value]
```

Scope

Phase Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

phase_r

Input Variables

Parameter 間の条件は AND 指定されたものとして検索されます。*は必須指定項目です。

URL Parameter	Definition
partition*	Partition Id を数値で指定します。
resource*	取得する Resource を指定します。指定できる値は、「 Code Reference - Resource List 」を参照してください。
resourceId	取得する Phase が関連する Resource のデータの Id を指定します。Candidate の Id, Job の Id などが該当します。Or 検索する場合は condition パラメータに resourceId (Field List を参照してください) をセットして Resource の Id を指定します。
id	取得したい Phase の Id を指定します。Or 検索する場合は condition パラメータに id (Field List を参照してください) をセットして Phase の Id を指定します。
count	取得する Phase の件数を指定します。指定しない場合は 10 が指定されたものとみなします。指定できる最大の値は 200 です。
start	取得する Phase の開始位置を指定します。指定しない場合は 0 が指定されたものとみなします。
condition	検索する条件を指定します。 詳細は「Read - Condition」を参照してください。 指定できる項目は後述の Field List を参照してください。
field	出力する項目を指定します。省略した場合は Phase.P_Id が指定されたものとみなします。 詳細は「Read - Field」を参照してください。 指定できる Field については、後述の Field List を参照してください。
order	出力時のデータの並び順を指定します。 詳細は「Read - Order」を参照してください。 並び順に指定できる項目は Field List から選択できます。 指定しない場合は、Phase.P_Id:asc が指定されたものとみなします

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

出力値は XML 形式で取得できます

Tag	Definition
Phase	Phase の Root 要素。取得できたデータの数が Count 属性に、取得データの Index が Start 属性に入ります。Start はデータの先頭からの Index です。Page 番号ではありません。Phase の一つずつを item 要素として列挙します。
Total	Phase の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Start	Phase の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	Phase の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Item	一つの Phase の情報を表します。Field 要素を内包します。
Field	指定された項目の値を格納します。要素の名称は、Field List 参照です。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Phase Total="1" Count="1" Start="0">
  <Code>0</Code>
  <Item>
    <Id>2</Id>
    <Resource>1</Resource>
    <ResourceId>10006</ResourceId>
    <Phase>
      <Option.P_ResumeClose>
        <Option.P_Id>3</Option.P_Id>
        <Option.P_Name>Close</Option.P_Name>
      </Option.P_ResumeClose>
    </Phase>
    <Date>2013-08-07 02:36:00</Date>
    <Memo>This is a memo</Memo>
  </Item>
</Phase>
```

Write

Phase Write では、指定した Phase を新規に登録、または更新することができます。

POST [https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/phase?partition=\[value\]](https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/phase?partition=[value])

Scope

Phase Write を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

phase_w

Input Variables

次の値を URL Parameter として指定できます。*は必須指定項目です。

URL Parameter	Definition
partition*	Partition の Id。

次の値を XML 形式で POST 時のデータブロックに指定できます。*は必須指定項目です。

Tag	Definition
Phase	Phase の Root 要素。
Item	一つの Phase の情報を表します。
Id	-1 を指定した場合は、新規に Phase の Item を作成します。値を指定した場合は、指定した ID を持つ Phase を更新します。存在しない ID を指定した場合はエラーとなります。
Resource	この Phase を登録する対象の Resource。Resource については、「 Code Reference - Resource List 」を参照してください。
ResourceId	この Phase を登録する Resource のレコードの Id を表します。

Sample Input XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Phase>
  <Item>
    <Id>-1</Id>
    <Resource>17</Resource>
    <ResourceId>10234</ResourceId>
    <Phase><Option.P_ResumeOpen</Phase>
  </Item>
  <Item>
    <Id>45678</Id>
    <Resource>3</Resource>
    <ResourceId>10032</ResourceId>
    <Date>2013-11-02 02:55</Date>
    <Memo>This is a new memo</Memo>
  </Item>
</Phase>
```

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Parameter	Definition
Phase	Phase の Root 要素。
Id	新規登録または更新された Phase の Id。
Code	処理結果を表す Code。「 Code Reference - Result Code List 」を参照してください。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
```

```

<Phase>
  <Item>
    <Id>10001</Id>
    <Code>0</Code>
  </Item>
</Phase>

```

Field List

Field List

次のリストは Phase Resource に関する項目について解説しています。

●は新規作成時の必須項目です。●は更新時の必須項目です。

Field Name	Data Type	Definition
Id ● ●	System(ID)	フェーズの Id。
Resource ●	Number	この Phase を登録する対象の Resource。Resource については、「 Code Reference - Resource List 」を参照してください。
ResourceId	Number	この Phase を登録する Resource のデータの Id を表します。
Phase	DropDown	フェーズ。
Date	DateTime	フェーズ日付。
Memo	MultilineText	フェーズメモ。
Recent	Number	1 の場合は最新フェーズ、0 の場合は過去フェーズを表します。
RegisteredBy	System(User)	データ登録者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
RegistrationDate	DateTime	データ登録日。自動的に登録日時が指定されます。
UpdatedBy	System(User)	データ更新者。詳細は「 XML Format 」を参照してください。
UpdateDate	DateTime	データ更新日。自動的に更新日時が指定されます。

Attachment

Attachment API では添付ファイルに対するアクセスを提供します。

Read

Attachment Read では、指定した検索条件に対応する Attachment のデータを取得することができます。

```
GET https://api-hrbc-
jp.porterscloud.com/v1/attachment?partition=[value]&requestType=[value]&resource=[valu
e]&resourceId=[value]&id=[value]&count=[value]&start=[value]
```

Scope

Attachment Read を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

attachment_r, process_r, resume_r, candidate_r, job_r, recruiter_r, client_r

Input Variables

Parameter 間の条件は AND 指定されたものとして検索されます。*は必須指定項目です。

URL Parameter	Definition
partition*	Partition Id を数値で指定します。
requestType*	0 を指定すると、<Content>タグに Base64 Encode されたデータが付加されます。 1 を指定すると、<Content>タグは含まれません。
resource*	取得する Resource を指定します。指定できる値は、「 Code Reference - Resource List 」を参照してください。
resourceId	取得する Attachment が関連する Resource のデータの Id を指定します。Candidate の Id, Job の Id などが該当します。
id	取得したい Attachment の Id を指定します。
Count1	取得するデータの件数を指定します。指定しない場合は 10 が指定されたものとみなします。指定できる最大の値は 200 です。
start	取得するデータの開始位置を指定します。指定しない場合は 0 が指定されたものとみなします。

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

出力値は XML 形式で取得できます

Tag	Definition
Attachment	Attachment の Root 要素。取得できたデータの数 Count 属性に、取得データの Index が Start 属性に入ります。Start はデータの先頭からの Index です。Page 番号ではありません。

	ません。
Total	Attachment の属性。指定した検索条件で取得できる総件数を示します。
Start	Attachment の属性。今回取得したデータの開始インデックスを示します。
Count	Attachment の属性。今回取得したデータの件数を示します。
Code	処理結果を表すコード。「 Error - Error List 」を参照してください。
Item	一つの Attachment の情報を表します。
Id	Attachment の Id。
Resource	この Attachment が登録されている Resource。Resource については、「 Code Reference - Resource List 」を参照してください。
ResourceId	この Attachment が登録されているレコードの Id を表します。
ContentType	Content で指定するデータの種別を指定します。通常 Mime Type と同じ内容を示します。
FileName	ファイル名。
Content	Base64 Encode されたファイル。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Attachment Total="1" Count="1" Start="0">
  <Code>0</Code>
  <Item>
    <Id>2</Id>
    <Resource>1</Resource>
    <ResourceId>10006</ResourceId>
    <ContentType>text/plain</ContentType>
    <FileName>HR-Business Cloud Version3.2.pptx</FileName>
    <Content>UEsDBBQAbGAI...</Content>
  </Item>
</Attachment>
```

Write

Attachment Write では、指定した Attachment を新規に登録、または更新することができます。

POST [https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/attachment?partition=\[value\]](https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/attachment?partition=[value])

Scope

Attachment Write を行うために必要なアクセス権は次の通りです。

attachment_w

Input Variables

次の値を URL Parameter として指定できます。*は必須指定項目です。

URL Parameter	Definition
partition*	Partition の Id。

次の値を XML 形式で POST 時のデータブロックに指定できます。*は必須指定項目です。

Tag	Definition
Attachment	Attachment の Root 要素。
Item	一つの Attachment の情報を表します。
Id	-1 を指定した場合は、新規に Attachment の Item を作成します。値を指定した場合は、指定した ID を持つ Attachment を更新します。存在しない ID を指定した場合はエラーとなります。
Content	Base64 Encode されたファイル。
Resource	この Attachment を登録する対象の Resource。Resource については、「 Code Reference - Resource List 」を参照してください。
ResourceId	この Attachment を登録する Resource のレコードの Id を表します。
FileName	拡張子付のファイル名を指定します。
ContentType	ファイルの Mime Type を指定します。

Sample Input XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Attachment>
  <Item>
    <Resource>1</Resource>
    <FileName>resume.txt</FileName>
    <ContentType>text/plain</ContentType>
    <Id>-1</Id>
    <ResourceId>10001</ResourceId>
    <Content>UESDBBQABgAI...</Content>
  </Item>
</Attachment>
```

Result Values

処理が成功した場合は、Response Header に HTTP Status として 200 が返り、Output Values で解説している値が取得できます。エラーが発生した場合は、200 以外の値が返ります。

Output Values

Parameter	Definition
Attachment	Attachment の Root 要素。
Id	新規登録または更新された Attachment の Id。
Code	処理結果を表す Code。「 Code Reference - Result Code List 」を参照してください。

Sample Output XML

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<Attachment>
  <Item>
    <Id>10001</Id>
    <Code>0</Code>
  </Item>
</Attachment>
```

</Attachment>

Remarks

- Attachment API でサポートされているファイルの種類は次の通りです。
txt, pdf, xls, doc, ppt, xlsx, docx, pptx, html, htm, gif, jpg, jpeg, png, bmp
- 1 ファイルのサイズが 2MB を超えるものはサポートされません。
- Windows のファイル名で使用できない文字は指定することはできません。
- ファイル名はファイルの拡張子を含め、255 バイトを超える名称を指定することはできません。

Field List

Attachment で指定できる任意の Field はありません。

Code Reference

Resource List

Resource の一覧と、それぞれの値は次の通りです。

Resource Name	Value	Description
Candidate	1	求職者情報表します。
Job	3	求人情報を表します。
Client	5	求人企業情報を表します。
Process	7	進捗情報を表します。
Recruiter	9	求人企業担当者を表します。
Sales	11	売上情報を表します。
Contract	13	契約情報を表します。
Resume	17	レジューメ情報表します。
Activity	19	アクティビティ情報表します。

Field Type List

Field Type の一覧と、それぞれの値は次の通りです。

Field Type Name	Value	Description
SinglelineText	1	一行テキスト
MultilineText	2	複数行テキスト
Number	3	数値
Date	4	年月日
Option [Checkbox]	5	選択肢(チェックボックス)
Option [Radiobutton]	6	選択肢(ラジオボタン)
Option [Drowdown]	7	選択肢(ドロップダウン)
Age	8	年齢
URL	9	URL
Mail	10	メール
System	11	システム属性
DateTime	12	年月日時分
Currency	14	通貨
Telephone	15	電話番号
Reference	16	参照
User	17	ユーザー
Image	18	画像型

Result Code List

Resource API でのアクセス時に返却される処理結果コードは次の通りです。

※Authentication and Authorization のコードとは異なりますので注意してください。

Code	Description
0	処理が成功しました。
5	ユーザーIDが無効です。
6	アクセスしているユーザーに権限がありません。
7	指定された Resource は存在しません。
8	システムの内部エラーが発生しました。
9	システムが一時的に利用できない状態になっています。
100	指定されたパラメータが無効です。
101	必要なパラメータが不足しています。
102	パラメータが多すぎます。
103	指定されたパラメータの値が無効です。
104	無効な文字コードが含まれています。
105	サポートされていない Encoding が指定されています。
106	指定した値に、無効な書式が指定されています。
107	指定した値が、整数の書式として認識できません。
108	指定された値が、実数の書式として認識できません。
109	指定された値が、パラメータの型と一致していません。
110	指定された値が、年月日の書式として無効です。
111	指定された値が、年月日時分の書式として無効です。
112	指定された値が、年齢の書式として無効です。
113	指定された値が、範囲を超えています。
114	指定された値が、小さすぎます。
115	指定された値が、大きすぎます。
116	値が指定されていません。
126	最新フェーズとして設定できません。
301	対象のデータが既に存在しています。
302	トランザクションでエラーが発生したため、データの更新ができませんでした。
303	対象のデータは、子要素が存在します。
304	対象のデータは、他の要素に参照されています。
400	対象のデータにアクセスする権限がないか、不足しています。
401	Access Token の期限が切れています。
402	Access Token が無効です。
403	対象のデータにアクセスする権限がありません。
404 *1	対象のパーティションは存在しないか、または利用期間外です。

500 *2	登録最大件数を超過しています。
1000	処理が失敗しました。

- *1 Code 404 が返ってきた場合は、アクセスしている Partition(HRBC の会社データ)が存在しない、利用期間が開始されていない、利用期間を終了している、のいずれかの原因が考えられます。例えば、HRBC の解約をした場合、同時に API によるアクセスもできなくなりますのでご注意ください。
- *2 契約しているプランによって登録できるデータの最大件数が異なる場合があります。例えば、「JOB300 件無料プラン」の場合、JOB を 300 件以上登録しようとしたときに、Code 500 が返されます。

特殊な動作

Phase の更新について

Phase 関連項目を更新する場合、特別な制約が適用されますので注意してください。

Phase 関連項目

Phase 関連項目とは次の項目を指します。Client,Recruiter,Job,Candidate,Resume,Process には標準でこれらの項目が登録されています。

1. フェーズ: *[Resource].P_Phase*
2. フェーズ日付: *[Resource].P_PhaseDate*
3. フェーズメモ: *[Resource].P_PhaseMemo*
4. フェーズカレンダー表示: *[Resource].P_PhaseCalendar*

更新時の制約

Resource のレコードを更新するときに指定できる Phase は、既に登録済みの Phase に対して、最新 Phase となる条件を満たしたものでなければなりません。最新 Phase となる条件の優先順位は次の通りです。

1. フェーズ日付が、既に登録されている最新 Phase のフェーズ日付よりも新しいこと
2. フェーズの選択肢が、既に登録されている最新 Phase の選択肢の並び順がより大きいもの

※ただし 2 の条件は過去のデータとの互換性のために設定されている制約のため、将来のバージョンで動作が保障されない場合があります。原則としてフェーズを更新する場合は、現在の最新 Phase に対して Phase 日付がより新しくなるように設定してください。

上記の制約条件を満たしたデータを指定した場合、レコードの更新状態には二つのパターンがあります。

1. 既に登録されている最新 Phase から Phase 自体は変更がなく、その他の項目に変更がある場合
→ 現在の最新 Phase を上書きで更新します。
2. 既に登録されている最新 Phase とは異なる Phase が指定されている場合

→ 全ての項目が新規の Phase データとして追加されます。

新規登録時の制約

Resource のレコードを新規追加する場合でも原則として更新時と同様の制約が適用されることとなりますが、新規追加時に既に登録されている Phase はありませんので、実質的には制約なく Phase が登録できることとなります。

名称が自動生成される項目

レジュメタイトル

Resume(レジュメ)登録時にレジュメタイトル(Resume.P_Name)を未指定または空白で登録した場合、そのレジュメが関連づけられている Candidate の名称が次のフォーマットで自動生成して登録されます。

Candidate.P_Name(Resume.P_Id)

例えば、個人連絡先名が「鈴木 一郎」で登録されていて、登録される Resume の ID が 10001 の場合、Resume.P_Name には自動的に「鈴木 一郎(10001)」という名称が生成されて登録されます。

Appendix

アプリケーション開発時の注意点

システム停止状態に対応したアプリケーション構成

HRBC API はシステムメンテナンスやその他の理由の為に停止する場合があります。HRBC API を利用してアプリケーションを開発するとき、HRBC API システムが停止している場合を想定してアプリケーションを設計しておくことは非常に重要です。

データを失わないために

HRBC API を利用して開発されるアプリケーションのうち最も多いのが、求職者の登録用のページです。通常 HRBC API は、メンテナンスの場合を除き、無停止で運用されていますが、アプリケーションと HRBC API との接続にはインターネット回線を利用しているため、想定できない回線障害などが発生する可能性は否定できません。万が一の場合に備えて、求職者等のデータを HRBC API を利用して登録する前に、ログなどに記録しておき、後で登録しなおすことができるような仕組みを取り入れておくことをお勧めします。

接続に関する注意点

HRBC API は Web API というサービスの提供形態であるため、予期せず回線が切断される可能性があります。このような状況を回避するために、重要な処理に関してはリトライをするなどして、通信障害に備えたシステム構成をとってください。

さい。

HRBCでの項目の変更

HRBC では[カスタマイズ]メニューを使用することによって、ユーザーが自由に項目や選択肢を作成したり、削除したりすることができます。API を使用したアプリケーションを開発後、ユーザーが[カスタマイズ]の機能を使って、項目を削除した場合、プログラムで指定していた項目が存在せずにエラーになる場合があります。アプリケーション作成後に、変更してはいけない項目については、ユーザーに十分に説明し、運用時にエラーが発生しないように注意してください。

初期項目と選択肢

HRBC の利用開始時に初期状態として作成される項目と選択肢のうち API でアクセスできるものを示します。初期項目および選択肢はバージョンによって変更される可能性があります。また、ユーザーの利用状態によっては、初期項目が削除されている場合もありますのでご注意ください。

初期項目

利用開始時点での Resource ごとの初期項目を記載しています。リストを参照する場合、次の点にご確認ください。

- ※ *はユーザーによる削除ができない項目を示します。
- ※ Field Type が[選択肢]になっている項目の場合、Description に記載されている選択肢の Alias は、その項目が使用する選択肢の Alias を示しています。
- ※ Field Type が[参照]になっている項目の場合、Description に記載されている選択肢の Alias は、その項目が参照する項目の Alias を示しています。
- ※ Field Type の選択肢(C)はコンボボックスを、選択肢(D)はドロップダウンリストを、選択肢(R)はラジオボタンを表します。

Client

Alias	Name	Field Type	Description
Client.P_Id*	企業 ID	システム	
Client.P_Owner*	企業の所有者	システム	
Client.P_Name*	企業名	一行テキスト	
Client.P_Reading	フリガナ	一行テキスト	
Client.P_Type	企業の種別	選択肢(D)	Option.P_ClientType
Client.P_ServiceType	提供中のサービス	選択肢(C)	Option.P_ServiceType
Client.P_Url	URL	URL	
Client.P_Memo	メモ	複数行テキスト	
Client.P_Telephone*	電話(企業)	電話番号	
Client.P_Fax*	FAX(企業)	電話番号	
Client.P_Country*	国(企業)	一行テキスト	

Client.P_Zipcode*	郵便番号(企業)	一行テキスト	
Client.P_Prefecture*	都道府県(企業)	一行テキスト	
Client.P_City*	市区郡(企業)	一行テキスト	
Client.P_Street*	住所詳細(企業)	複数行テキスト	
Client.P_RegistrationDate*	データ登録日	システム	
Client.P_RegisteredBy*	データ登録者	システム	
Client.P_UpdateDate*	データ更新日	システム	
Client.P_UpdatedBy*	データ更新者	システム	
Client.P_Phase*	フェーズ	選択肢(D)	Option.P_ClientPhase
Client.P_PhaseDate*	フェーズ日付	年月日時分	
Client.P_PhaseMemo*	フェーズメモ	複数行テキスト	

Recruiter

Alias	Name	Field Type	Description
Recruiter.P_Id*	企業担当者 ID	システム	
Recruiter.P_Owner*	企業担当者の所有者	システム	
Recruiter.P_Name*	企業担当者氏名	一行テキスト	
Recruiter.P_Reading	フリガナ	一行テキスト	
Recruiter.P_Client*	企業名	システム	
Recruiter.P_Division*	部署名	一行テキスト	
Recruiter.P_Title*	役職名	一行テキスト	
Recruiter.P_Memo	メモ	複数行テキスト	
Recruiter.P_Telephone*	電話(企業担当者)	電話番号	
Recruiter.P_Fax*	FAX(企業担当者)	電話番号	
Recruiter.P_Mail*	メール(企業担当者)	メール	
Recruiter.P_Mobile*	携帯電話(企業担当者)	電話番号	
Recruiter.P_MobileMail*	携帯メール(企業担当者)	メール	
Recruiter.P_Country*	国(企業担当者)	一行テキスト	
Recruiter.P_Zipcode*	郵便番号(企業担当者)	一行テキスト	
Recruiter.P_Prefecture*	都道府県(企業担当者)	一行テキスト	
Recruiter.P_City*	市区郡(企業担当者)	一行テキスト	
Recruiter.P_Street*	住所詳細(企業担当者)	複数行テキスト	
Recruiter.P_RegistrationDate*	データ登録日	システム	
Recruiter.P_RegisteredBy*	データ登録者	システム	
Recruiter.P_UpdateDate*	データ更新日	システム	
Recruiter.P_UpdatedBy*	データ更新者	システム	
Recruiter.P_Phase*	フェーズ	選択肢(D)	Option.P_RecruiterPhase

Recruiter.P_PhaseDate*	フェーズ日付	年月日時分	
Recruiter.P_PhaseMemo*	フェーズメモ	複数行テキスト	

Job

Alias	Name	Field Type	Description
Job.P_Id*	JOB ID	システム	
Job.P_Owner*	JOB の所有者	システム	
Job.P_Position*	JOB タイトル	一行テキスト	
Job.P_Client*	企業名	システム	
Job.P_Recruiter*	企業担当者氏名	システム	
Job.P_Url	ホームページ(URL)	URL	
Job.P_RecruitmentUrl	採用情報(URL)	URL	
Job.P_Memo	メモ	複数行テキスト	
Job.P_ServiceType	サービスの種別	選択肢(D)	Option.P_ServiceType
Job.P_Publish*	アプリへの公開	選択肢(R)	Option.P_Publish
Job.P_Phase*	フェーズ	選択肢(D)	Option.P_JobPhase
Job.P_PhaseDate*	フェーズ日付	年月日時分	
Job.P_PhaseMemo*	フェーズメモ	複数行テキスト	
Job.P_Mail*	メール(企業担当者)	参照	Recruiter.P_Mail
Job.P_MobileMail*	携帯メール(企業担当者)	参照	Recruiter.P_MobileMail
Job.P_TelephoneReference*	電話(企業担当者)	参照	Recruiter.P_Telephone
Job.P_FaxReference*	FAX(企業担当者)	参照	Recruiter.P_Fax
Job.P_MobileReference*	携帯電話(企業担当者)	参照	Recruiter.P_Mobile
Job.P_CountryReference*	国(企業担当者)	参照	Recruiter.P_Country
Job.P_ZipcodeReference*	郵便番号(企業担当者)	参照	Recruiter.P_Zipcode
Job.P_PrefectureReference*	都道府県(企業担当者)	参照	Recruiter.P_Prefecture
Job.P_CityReference*	市区郡(企業担当者)	参照	Recruiter.P_City
Job.P_StreetReference*	住所詳細(企業担当者)	参照	Recruiter.P_Street
Job.P_EmploymentType	雇用形態	選択肢(C)	Option.P_EmploymentType
Job.P_Industry	業種	選択肢(C)	Option.P_Industry
Job.P_IndustrySummary	事業内容	複数行テキスト	
Job.P_JobCategory	職種	選択肢(C)	Option.P_JobCategory
Job.P_JobCategorySummary	業務内容	複数行テキスト	
Job.P_Area	勤務地	選択肢(C)	Option.P_Area
Job.P_AreaSummary	勤務地(詳細)	複数行テキスト	
Job.P_MinSalary	給与下限	通貨	

Job.P_MaxSalary	給与上限	通貨	
Job.P_SalarySummary	給与(詳細)	複数行テキスト	
Job.P_ExpectedAgeReason	年齢制限の理由	選択肢(D)	Option.P_ExpectedAgeReason
Job.P_SalesAmountText	売上高	一行テキスト	
Job.P_PayrollsText	従業員数	一行テキスト	
Job.P_EstablishmentDateText	会社設立日	一行テキスト	
Job.P_CapitalText	資本金	一行テキスト	
Job.P_PubliclyTraded	株式公開	選択肢(D)	Option.P_PubliclyTraded
Job.P_RegistrationDate*	データ登録日	システム	
Job.P_RegisteredBy*	データ登録者	システム	
Job.P_UpdateDate*	データ更新日	システム	
Job.P_UpdatedBy*	データ更新者	システム	
Job.P_EmploymentPeriod	雇用期間	複数行テキスト	
Job.P_WokingHours	勤務時間	複数行テキスト	
Job.P_Holidays	休日/休暇	複数行テキスト	
Job.P_Benefits	保険/福利厚生	複数行テキスト	

Candidate

Alias	Name	Field Type	Description
Person.P_Id*	個人連絡先 ID	システム	
Person.P_Owner*	個人連絡先の所有者	システム	
Person.P_Name*	個人氏名	一行テキスト	
Person.P_Reading	フリガナ	一行テキスト	
Person.P_Memo	メモ	複数行テキスト	
Person.P_Telephone*	電話(個人)	電話番号	
Person.P_Fax*	FAX(個人)	電話番号	
Person.P_Mail*	メール(個人)	メール	
Person.P_Mobile*	携帯電話(個人)	電話番号	
Person.P_MobileMail*	携帯メール(個人)	メール	
Person.P_Country*	国(個人)	一行テキスト	
Person.P_Zipcode*	郵便番号(個人)	一行テキスト	
Person.P_Prefecture*	都道府県(個人)	一行テキスト	
Person.P_City*	市区郡(個人)	一行テキスト	
Person.P_Street*	住所詳細(個人)	複数行テキスト	
Person.P_RegistrationDate*	データ登録日	システム	
Person.P_RegisteredBy*	データ登録者	システム	

Person.P_UpdateDate*	データ更新日	システム	
Person.P_UpdatedBy*	データ更新者	システム	
Person.P_Phase*	フェーズ	選択肢(D)	Option.P_PersonPhase
Person.P_PhaseDate*	フェーズ日付	年月日時分	
Person.P_PhaseMemo*	フェーズメモ	複数行テキスト	

Resume

Alias	Name	Field Type	Description
Resume.P_Id*	レジュメ ID	システム	
Resume.P_Owner*	レジュメの所有者	システム	
Resume.P_Name*	レジュメタイトル	一行テキスト	
Resume.P_Candidate*	個人氏名	システム	
Resume.P_Memo	メモ	複数行テキスト	
Resume.P_ServiceType	サービスの種別	選択肢(D)	Option.P_ServiceType
Resume.P_Phase*	フェーズ	選択肢(D)	Option.P_ResumePhase
Resume.P_PhaseDate*	フェーズ日付	年月日時分	
Resume.P_PhaseMemo*	フェーズメモ	複数行テキスト	
Resume.P_Mail*	メール(個人)	参照	Person.P_Mail
Resume.P_MobileMail*	携帯メール(個人)	参照	Person.P_MobileMail
Resume.P_TelephoneReference*	電話(個人)	参照	Person.P_Telephone
Resume.P_FaxReference*	FAX(個人)	参照	Person.P_Fax
Resume.P_MobileReference*	携帯電話(個人)	参照	Person.P_Mobile
Resume.P_CountryReference*	国(個人)	参照	Person.P_Country
Resume.P_ZipcodeReference*	郵便番号(個人)	参照	Person.P_Zipcode
Resume.P_PrefectureReference*	都道府県(個人)	参照	Person.P_Prefecture
Resume.P_CityReference*	市区郡(個人)	参照	Person.P_City
Resume.P_StreetReference*	住所詳細(個人)	参照	Person.P_Street
Resume.P_Education	学歴(詳細)	複数行テキスト	
Resume.P_ExperiencedIndustry	経験業種	選択肢(C)	Option.P_Industry
Resume.P_ExperiencedJobCategory	経験職種	選択肢(C)	Option.P_JobCategory
Resume.P_CarrierSummary	職務経歴(詳細)	複数行テキスト	
Resume.P_CurrentStatus	現在の就業状況	選択肢(D)	Option.P_WorkStatus
Resume.P_ChangeJobsCount	転職回数	数値	
Resume.P_CurrentSalary	現在の年収	通貨	
Resume.P_ExpectSalary	希望の年収	通貨	
Resume.P_HourlyRate	現在の時給	通貨	

Resume.P_DesiredHourlyRate	希望の時給	通貨	
Resume.P_ExpectIndustry	希望業種	選択肢(C)	Option.P_Industry
Resume.P_ExpectJobCategory	希望職種	選択肢(C)	Option.P_JobCategory
Resume.P_ExpectEmploymentType	希望雇用形態	選択肢(C)	Option.P_EmploymentType
Resume.P_ExpectArea	希望勤務地	選択肢(C)	Option.P_Area
Resume.P_ExpectCondition	希望条件(詳細)	複数行テキスト	
Resume.P_RegisterChannel	登録経路	選択肢(D)	Option.P_RegisterChannel
Resume.P_RegistrationDate*	データ登録日	システム	
Resume.P_RegisteredBy*	データ登録者	システム	
Resume.P_UpdateDate*	データ更新日	システム	
Resume.P_UpdatedBy*	データ更新者	システム	
Resume.P_DateOfBirth	生年月日	年齢	
Resume.P_Gender	性別	選択肢(R)	Option.P_Gender

Process

Alias	Name	Field Type	Description
Process.P_Id*	選考プロセス ID	システム	
Process.P_Owner*	選考プロセスの所有者	システム	
Process.P_Client*	企業	システム	
Process.P_Recruiter*	企業担当者	システム	
Process.P_Job*	JOB タイトル	システム	
Process.P_Candidate*	個人氏名	システム	
Process.P_Resume*	レジュメタイトル	システム	
Process.P_JobOwner*	JOB の所有者	参照	Job.P_Owner
Process.P_ResumeOwner*	レジュメの所有者	参照	Resume.P_Owner
Process.P_Phase*	選考プロセス	選択肢(D)	Option.P_ProcessPhase
Process.P_PhaseDate*	選考プロセス日付	年月日時分	
Process.P_PhaseMemo*	選考プロセスメモ	複数行テキスト	
Process.P_Close*	終了フラグ	選択肢(C)	Option.P_ProcessClose
Process.P_CloseReason*	終了理由	選択肢(C)	Option.P_ProcessReason
Process.P_ExpectedSalesAmount	売上金額(見込み)	通貨	
Process.P_ExpectedClosingDate	成約予定日	年月日	
Process.P_JobTelephoneReference*	電話(企業担当者)	参照	Recruiter.P_Telephone
Process.P_JobFaxReference*	FAX(企業担当者)	参照	Recruiter.P_Fax

Process.P_JobMailReference*	メール(企業担当者)	参照	Recruiter.P_Mail
Process.P_JobMobileReference*	携帯電話(企業担当者)	参照	Recruiter.P_Mobile
Process.P_JobMobileMailReference*	携帯メール(企業担当者)	参照	Recruiter.P_MobileMail
Process.P_ResumeTelephoneReference*	電話(個人)	参照	Person.P_Telephone
Process.P_ResumeFaxReference*	FAX(個人)	参照	Person.P_Fax
Process.P_ResumeMailReference*	メール(個人)	参照	Person.P_Mail
Process.P_ResumeMobileReference*	携帯電話(個人)	参照	Person.P_Mobile
Process.P_ResumeMobileMailReference*	携帯メール(個人)	参照	Person.P_MobileMail
Process.P_RegistrationDate*	データ登録日	システム	
Process.P_RegisteredBy*	データ登録者	システム	
Process.P_UpdateDate*	データ更新日	システム	
Process.P_UpdatedBy*	データ更新者	システム	

Contract

Field Name	Data Type	Definition
Contract.P_Id*	System(ID)	契約 ID (Contract ID)
Contract.P_Client*	System(Client)	企業 (Client)
Contract.P_Name*	SinglelineText	契約タイトル (Contract Title)
Contract.P_AdvancePayment	Currency	前金・着手金 (Advance and Consulting Fee)
Contract.P_ContingentFeeRate	Number	成功報酬(料率) (Contingency Fee Rate)
Contract.P_ContingentFee	Currency	成功報酬(固定額) (Contingency Fee)
Contract.P_RefundTerms	SinglelineText	返金規定 (Refund Terms)
Contract.P_PaymentTerms	SinglelineText	支払規定 (Payment Terms)
Contract.P_StartDate	Date	契約開始日 (Contract Start Date)
Contract.P_EndDate	Date	契約終了日 (Contract End Date)
Contract.P_Memo	MultilineText	メモ (Memo)
Contract.P_RegistrationDate*	DateTime	データ登録日 (Date Created)
Contract.P_RegisteredBy*	System(User)	データ登録者 (Registered by)
Contract.P_UpdateDate*	DateTime	データ更新日 (Date Updated)
Contract.P_UpdatedBy*	System(User)	データ更新者 (Updated by)
Contract.P_ClientContactDivision	SinglelineText	部署(派遣先責任者) (Client Contact Division)
Contract.P_ClientContactTitle	SinglelineText	役職(派遣先責任者) (Client Contact Title)
Contract.P_ClientContactName	SinglelineText	氏名(派遣先責任者) (Client Contact Name)

Contract.P_ClientZipcode	SinglelineText	郵便番号(就業の場所) (Client Zip Code)
Contract.P_ClientAddress	SinglelineText	住所(就業の場所) (Client Address)
Contract.P_ClientDivision	SinglelineText	部署(就業の場所) (Client Division)
Contract.P_SupervisorDivision	SinglelineText	部署(指揮命令担当者) (Supervisor Division)
Contract.P_SupervisorTitle	SinglelineText	役職(指揮命令担当者) (Supervisor Title)
Contract.P_SupervisorName	SinglelineText	氏名(指揮命令担当者) (Supervisor Name)
Contract.P_ContractorType	Option(Dropdown)	派遣業務の種別 (Contractor Type)
Contract.P_ContractorTypeSummary	MultilineText	派遣業務(詳細) (Contractor Type Summary)
Contract.P_ContractorHeadCount	Number	派遣人数 (Contractor Head Count)
Contract.P_ContractorFee	Currency	派遣料金 (Contractor Fee)
Contract.P_ContractorStartDate	Date	派遣開始日 (Contractor Start Date)
Contract.P_ContractorEndDate	Date	派遣終了日 (Contractor End Date)
Contract.P_WorkingHour	SinglelineText	就業時間 (Working Hours)
Contract.P_BreakTime	SinglelineText	休憩時間 (Break Time)
Contract.P_Holiday	MultilineText	休日(Holiday)
Contract.P_PaymentTermsClosingDate	SinglelineText	支払条件(締日) (Payment Terms Closing Date)
Contract.P_ContractorPaymentDate	SinglelineText	支払条件(支払日) (Contractor Payment Date)
Contract.P_ContractorBillingDate	SinglelineText	支払条件(請求書到着日) (Contractor Billing Date)
Contract.P_ContractorTravelExpense	SinglelineText	支払条件(交通費請求) (Contractor Travel Expenses)
Contract.P_ContractorPaymentByHour	SinglelineText	支払条件(時間単位) (Hourly Contractor Payment)
Contract.P_Phase*	Option(Dropdown)	フェーズ (Phase)
Contract.P_PhaseDate*	DateTime	フェーズ日付 (Phase Date)
Contract.P_PhaseMemo*	MultilineText	フェーズメモ (Phase Memo)

Sales

Alias	Name	Field Type	Description
Sales.P_Id*	売上 ID	システム	
Sales.P_Client*	企業	システム	
Sales.P_Recruiter*	企業担当者	システム	
Sales.P_Job*	JOB	システム	
Sales.P_Candidate*	個人氏名	システム	
Sales.P_Resume*	レジメタイトル	システム	
Sales.P_EnterDate	入社日/業務開始日	年月日	

Sales.P_ClientOwner*	企業の所有者	参照	Client.P_Owner
Sales.P_RecruiterOwner*	企業担当者の所有者	参照	Recruiter.P_Owner
Sales.P_JobOwner*	JOBの所有者	参照	Job.P_Owner
Sales.P_CandidateOwner*	個人連絡先の所有者	参照	Person.P_Owner
Sales.P_ResumeOwner*	レジューメの所有者	参照	Resume.P_Owner
Sales.P_Contract*	企業との契約	システム	
Sales.P_SalesAmount*	売上金額	通貨	
Sales.P_RecordDate*	売上日付	年月日	
Sales.P_BillingClient	企業(請求先)	一行テキスト	
Sales.P_BillingDivision	部署名(請求先)	一行テキスト	
Sales.P_BillingTitle	役職名(請求先)	一行テキスト	
Sales.P_BillingName	担当者名(請求先)	一行テキスト	
Sales.P_BillingCountry	国(請求先)	一行テキスト	
Sales.P_BillingZipcode	郵便番号(請求先)	一行テキスト	
Sales.P_BillingPrefecture	都道府県(請求先)	一行テキスト	
Sales.P_BillingCity	市区郡(請求先)	一行テキスト	
Sales.P_BillingStreet	住所詳細(請求先)	複数行テキスト	
Sales.P_RegistrationDate	データ登録日	システム	
Sales.P_RegisteredBy	データ登録者	システム	
Sales.P_UpdateDate	データ更新日	システム	
Sales.P_UpdatedBy	データ更新者	システム	
Sales.P_Phase	フェーズ	選択肢(D)	Option.P_SalesPhase
Sales.P_PhaseDate	フェーズ日付	年月日時分	
Sales.P_PhaseMemo	フェーズメモ	複数行テキスト	

Activity

Field Name	Data Type	Definition
Activity.P_Id*	System(ID)	アクティビティ ID (Activity ID)
Activity.P_Resource*	Number	アクティビティ登録先 (Resource)
Activity.P_ResourceId*	System(Client) System(Recruiter) System(Job) System(Candidate) System(Resume) System(Process) System(Sales)	アクティビティ登録先名称 (Resource ID)
Activity.P_Owner*	System(User)	アクティビティの所有者 (Activity Owner)

Activity.P_FromDate*	DateTime	日時(From) (From)
Activity.P_ToDate*	DateTime	日時(To) (To)
Activity.P_Title*	SinglelineText	件名 (Title)
Activity.P_Memo*	MultilineText	メモ (Memo)
Activity.P_RegistrationDate*	DateTime	データ登録日 (Date Created)
Activity.P_RegisteredBy*	System(User)	データ登録者 (Registered by)
Activity.P_UpdateDate*	DateTime	データ更新日 (Date Updated)
Activity.P_UpdatedBy*	System(User)	データ更新者 (Updated by)
Activity.P_Phase*	Option(DropDown)	フェーズ (Phase)
Activity.P_PhaseDate*	DateTime	フェーズ日付 (Phase Date)
Activity.P_PhaseMemo*	MultilineText	フェーズメモ (Phase Memo)
Activity.P_EventParticipants*	User	参加者 (Activity Participants)
Activity.P_EventResources*	Option(Checkbox)	リソース (Equipment)

選択肢

Alias	Name
Option.P_ResumePhase	フェーズ(レジュメ)
Option.P_ResumeOpen	└ Open
Option.P_ResumeClose	└ Close
Option.P_ResumeEntry	└ Entry
Option.P_JobPhase	フェーズ(JOB)
Option.P_JobOpen	└ Open
Option.P_JobClose	└ Close
Option.P_ProcessPhase	フェーズ(選考プロセス)
Option.P_ProcessMatching	└ マッチング
Option.P_ProcessSoundOut	└ JOB 打診
Option.P_ProcessRecommend	└ 推薦
Option.P_ProcessInterview1	└ 面接
Option.P_ProcessInterview2	└ 面接(二次以降)
Option.P_ProcessInformalDicision	└ 内定
Option.P_ProcessJoin	└ 入社/業務開始
Option.P_Gender	性別
Option.P_Male	└ 男性
Option.P_Female	└ 女性
Option.P_RegisterChannel	登録経路
Option.P_Channel1	└ 登録経路 1

Option.P_Channel2	↳ 登録経路 2
Option.P_Channel3	↳ 登録経路 3
Option.P_FindBy	認知経路
Option.P_FindBy1	↳ 認知経路 1
Option.P_FindBy2	↳ 認知経路 2
Option.P_FindBy3	↳ 認知経路 3
Option.P_WorkStatus	就業状況
Option.P_Working	↳ 就業中
Option.P_Leaving	↳ 離職中
Option.P_NoExperience	↳ 就業経験なし
Option.P_Industry	業種
Option.P_Industry1	↳ ソフトウェア/情報処理
Option.P_Industry2	↳ 通信/インターネット
Option.P_Industry3	↳ フード/レストラン
Option.P_Industry4	↳ レジャー/アミューズメント/ホテル/観光
Option.P_Industry5	↳ 人材ビジネス
Option.P_Industry6	↳ コールセンター
Option.P_Industry7	↳ 医療/福祉/介護/健康
Option.P_Industry8	↳ 教育
Option.P_Industry9	↳ 放送/広告/印刷/出版
Option.P_Industry10	↳ メーカー(コンピューター/通信)
Option.P_Industry11	↳ メーカー(電気/電子/半導体)
Option.P_Industry12	↳ メーカー(自動車)
Option.P_Industry13	↳ メーカー(機械)
Option.P_Industry14	↳ メーカー(化学/素材)
Option.P_Industry15	↳ メーカー(食料品)
Option.P_Industry16	↳ メーカー(医薬品/医療機器)
Option.P_Industry17	↳ メーカー(その他)
Option.P_Industry18	↳ 金融(銀行)
Option.P_Industry19	↳ 金融(保険)
Option.P_Industry20	↳ 金融(証券)
Option.P_Industry21	↳ 金融(その他)
Option.P_Industry22	↳ 商社
Option.P_Industry23	↳ 流通/小売(ファッション/アパレル)
Option.P_Industry24	↳ 流通/小売(その他)
Option.P_Industry25	↳ コンサルティングファーム/シンクタンク
Option.P_Industry26	↳ 不動産

Option.P_Industry27	↳ 建築/土木
Option.P_Industry28	↳ 電気/ガス/水道
Option.P_Industry29	↳ 団体/連合会/官公庁
Option.P_Industry30	↳ その他の業種
Option.P_JobCategory	職種
Option.P_JobCategory1	↳ 技術系(IT/インターネット/通信)
Option.P_JobCategory13	↳ システムアナリスト/コンサルタント
Option.P_JobCategory14	↳ プロジェクトマネージャー
Option.P_JobCategory15	↳ アプリケーション開発エンジニア(オープン系)
Option.P_JobCategory16	↳ アプリケーション開発エンジニア(WEB/モバイル系)
Option.P_JobCategory17	↳ アプリケーション開発エンジニア(汎用系)
Option.P_JobCategory18	↳ アプリケーション開発エンジニア(制御/組み込み系)
Option.P_JobCategory19	↳ データベース構築/設計エンジニア
Option.P_JobCategory20	↳ サーバー構築/設計エンジニア
Option.P_JobCategory21	↳ ネットワークエンジニア(設計)
Option.P_JobCategory22	↳ ネットワークエンジニア(保守/運用)
Option.P_JobCategory23	↳ 社内情報システム/EDP/MIS
Option.P_JobCategory24	↳ サポート/運用/保守/教育
Option.P_JobCategory25	↳ 研究/開発
Option.P_JobCategory26	↳ その他技術系(IT/インターネット/通信)
Option.P_JobCategory2	↳ 技術系(電気/電子/半導体)
Option.P_JobCategory27	↳ 研究/開発
Option.P_JobCategory28	↳ 回路設計/実装設計
Option.P_JobCategory29	↳ 生産技術/プロセス開発
Option.P_JobCategory30	↳ 生産管理/品質管理
Option.P_JobCategory31	↳ サービスエンジニア/セールスエンジニア
Option.P_JobCategory32	↳ その他技術系(電気/電子/半導体)
Option.P_JobCategory3	↳ 技術系(機械/メカトロ)
Option.P_JobCategory33	↳ 研究/開発
Option.P_JobCategory34	↳ 機械設計
Option.P_JobCategory35	↳ メカトロ制御設計
Option.P_JobCategory36	↳ 生産技術/プロセス開発
Option.P_JobCategory37	↳ 生産管理/品質管理
Option.P_JobCategory38	↳ サービスエンジニア/セールスエンジニア
Option.P_JobCategory39	↳ その他技術系(機械/メカトロ)
Option.P_JobCategory4	↳ 技術系(化学/素材)
Option.P_JobCategory40	↳ 研究/開発

Option.P_JobCategory41	└ 生産/製造技術開発
Option.P_JobCategory42	└ 生産管理/品質管理
Option.P_JobCategory43	└ サービスエンジニア/セールスエンジニア
Option.P_JobCategory44	└ 基礎/応用研究/分析
Option.P_JobCategory45	└ その他技術系(化学/素材)
Option.P_JobCategory5	└ 技術系(建築/土木/不動産)
Option.P_JobCategory46	└ 設計/開発
Option.P_JobCategory47	└ 施工管理/設備工事
Option.P_JobCategory48	└ その他
Option.P_JobCategory6	└ 医療/福祉系
Option.P_JobCategory49	└ 医師/看護師/薬剤師
Option.P_JobCategory50	└ 治験/臨床開発
Option.P_JobCategory51	└ 介護/リハビリ
Option.P_JobCategory52	└ その他専門職(医療/福祉系)
Option.P_JobCategory7	└ 販売/サービス系
Option.P_JobCategory53	└ 店舗開発
Option.P_JobCategory54	└ バイヤー/スーパーバイザー/MD
Option.P_JobCategory55	└ 店長/販売スタッフ
Option.P_JobCategory56	└ その他販売/サービス系
Option.P_JobCategory8	└ 営業系
Option.P_JobCategory57	└ 営業(法人向け)
Option.P_JobCategory58	└ 営業(個人向け)
Option.P_JobCategory59	└ 海外営業/貿易営業
Option.P_JobCategory60	└ 営業支援/テレマーケティング
Option.P_JobCategory61	└ MR
Option.P_JobCategory62	└ その他営業系
Option.P_JobCategory9	金融系
Option.P_JobCategory63	└ 運用/資金管理
Option.P_JobCategory64	└ 投資理論/アクチュアリー/商品開発
Option.P_JobCategory65	└ アナリスト/エコノミスト/ストラテジスト
Option.P_JobCategory66	└ 投資銀行系業務
Option.P_JobCategory67	└ バック/ミドル
Option.P_JobCategory68	└ その他金融系
Option.P_JobCategory10	└ 事務/管理系
Option.P_JobCategory69	└ 管理職
Option.P_JobCategory70	└ 経営企画/事業企画
Option.P_JobCategory71	└ 商品開発/マーケティング

Option.P_JobCategory72	↳ 広報/ I R
Option.P_JobCategory73	↳ 総務/人事/労務/教育
Option.P_JobCategory74	↳ 法務/特許
Option.P_JobCategory75	↳ 経理/財務
Option.P_JobCategory76	↳ 宣伝/販売促進
Option.P_JobCategory77	↳ 通訳/翻訳
Option.P_JobCategory78	↳ 貿易事務/国際事務
Option.P_JobCategory79	↳ 秘書/受付/一般事務
Option.P_JobCategory80	↳ 商品管理/購買/仕入/物流
Option.P_JobCategory81	↳ その他事務/管理系
Option.P_JobCategory11	↳ クリエイティブ系
Option.P_JobCategory82	↳ プランナー
Option.P_JobCategory83	↳ プロデューサー/ディレクター
Option.P_JobCategory84	↳ デザイナー(WEB/モバイル/ゲーム関連)
Option.P_JobCategory85	↳ デザイナー(ファッション/インテリア/工業)
Option.P_JobCategory86	↳ 製作/編集
Option.P_JobCategory87	↳ その他 クリエイティブ系
Option.P_JobCategory12	↳ シンクタンク/コンサルティング系
Option.P_JobCategory88	↳ IT 系コンサルタント
Option.P_JobCategory89	↳ 経営/戦略コンサルタント
Option.P_JobCategory90	↳ 財務/会計コンサルタント
Option.P_JobCategory91	↳ 組織/人事コンサルタント
Option.P_JobCategory92	↳ その他コンサルティング系
Option.P_LanguageAbility	語学力
Option.P_LanguageAbilityJapanese	↳ 日本語
Option.P_LanguageAbilityEnglish	↳ 英語
Option.P_LanguageAbilityChinese	↳ 中国語
Option.P_Area	地域
Option.P_AreaHokkaidoTohoku	↳ 北海道/東北
Option.P_Hokkaido	↳ 北海道
Option.P_Aomori	↳ 青森県
Option.P_Iwate	↳ 岩手県
Option.P_Miyagi	↳ 宮城県
Option.P_Akita	↳ 秋田県
Option.P_Yamagata	↳ 山形県
Option.P_Fukushima	↳ 福島県
Option.P_AreaKanto	↳ 関東

Option.P_Ibaraki	└ 茨城県
Option.P_Tochigi	└ 栃木県
Option.P_Gunma	└ 群馬県
Option.P_Saitama	└ 埼玉県
Option.P_Chiba	└ 千葉県
Option.P_Tokyo	└ 東京都
Option.P_Kanagawa	└ 神奈川県
Option.P_AreaJoshinetsuHokuriku	└ 上信越/北陸
Option.P_Niigata	└ 新潟県
Option.P_Toyama	└ 富山県
Option.P_Ishikawa	└ 石川県
Option.P_Fukui	└ 福井県
Option.P_Yamanashi	└ 山梨県
Option.P_Nagano	└ 長野県
Option.P_AreaTokai	└ 東海
Option.P_Gifu	└ 岐阜県
Option.P_Shizuoka	└ 静岡県
Option.P_Aichi	└ 愛知県
Option.P_Mie	└ 三重県
Option.P_AreaKansai	└ 関西
Option.P_Shiga	└ 滋賀県
Option.P_Kyoto	└ 京都府
Option.P_Osaka	└ 大阪府
Option.P_Hyogo	└ 兵庫県
Option.P_Nara	└ 奈良県
Option.P_Wakayama	└ 和歌山県
Option.P_AreaChugoku	└ 中国
Option.P_Tottori	└ 鳥取県
Option.P_Shimane	└ 島根県
Option.P_Okayama	└ 岡山県
Option.P_Hiroshima	└ 広島県
Option.P_Yamaguchi	└ 山口県
Option.P_AreaShikoku	└ 四国
Option.P_Tokushima	└ 徳島県
Option.P_Kagawa	└ 香川県
Option.P_Ehime	└ 愛媛県
Option.P_Kochi	└ 高知県

Option.P_AreaKyushuOkinawa	└ 九州/沖縄
Option.P_Fukuoka	└ 福岡県
Option.P_Saga	└ 佐賀県
Option.P_Nagasaki	└ 長崎県
Option.P_Kumamoto	└ 熊本県
Option.P_Oita	└ 大分県
Option.P_Miyazaki	└ 宮崎県
Option.P_Kagoshima	└ 鹿児島県
Option.P_Okinawa	└ 沖縄県
Option.P_AreaForeign	└ 海外
Option.P_Foreign	└ 海外
Option.P_EmploymentType	雇用形態
Option.P_FullTime	└ 正社員
Option.P_Contractor	└ 契約社員
Option.P_TemporaryStaff	└ 派遣社員
Option.P_Publish	JOB の公開/非公開
Option.P_RealName	└ 公開求人(実名)
Option.P_Anonymous	└ 公開求人(匿名)
Option.P_Nondisclosure	└ 非公開求人
Option.P_ExpectedAgeReason	年齢制限の理由
Option.P_ExpectedAgeReason1	└ 長期勤続によるキャリア形成を図るため新規学卒者を対象とする
Option.P_ExpectedAgeReason2	└ 技能/ノウハウ等の継承の観点から、年齢構成を維持/回復させるために特定年齢層を対象とする
Option.P_ExpectedAgeReason3	└ 芸術/芸能の分野における表現の真実性等の要請がある
Option.P_ExpectedAgeReason4	└ 行政の施策を踏まえて中高年齢者に限定した募集/採用する
Option.P_ExpectedAgeReason5	└ 労働基準法等の法令により、特定の年齢層の労働者の就業等が禁止/制限されている
Option.P_ExpectedAgeReason6	└ 定年年齢を上限として当該上限年齢未満の労働者を対象とする
Option.P_PubliclyTraded	株式公開
Option.P_PublicOnMarket	└ 公開
Option.P_PrivateOnMarket	└ 非公開
Option.P_SalaryType	給与形態
Option.P_AnnualSalary	└ 年収
Option.P_MonthlySalary	└ 月給
Option.P_DailySalary	└ 日給
Option.P_HourlySalary	└ 時給

Option.P_ClientType	企業の種別
Option.P_Customer	↳ 取引先
Option.P_Billing	請求済み
Option.P_BillingClaimed	↳ 請求済み
Option.P_ProcessClose	プロセスの終了状態
Option.P_ProcessCloseClose	↳ 終了
Option.P_ProcessReason	プロセスの終了理由
Option.P_ProcessReasonSuccess	↳ 入社
Option.P_ProcessReasonClientNG	↳ 企業 NG
Option.P_ProcessReasonCandidateNG	↳ 求職者 NG
Option.P_ProcessReasonJobConsultantNG	↳ コンサルタント(JOB 担当)NG
Option.P_ProcessReasonCanConsultantNG	↳ コンサルタント(求職者担当)NG
Option.P_CalendarDisplay	カレンダー表示
Option.P_CalendarDisplayDisplay	↳ 表示
Option.P_ServiceType	サービスの種別
Option.P_ServiceTypeFullTime	↳ 人材紹介
Option.P_ServiceTypeConstructor	↳ 人材派遣
Option.P_ServiceTypeOutplacement	↳ アウトプレースメント
Option.P_ConstructorType	派遣業種の種別
Option.P_ConstructorType1	↳ 1号 ソフトウエア開発の業務
Option.P_ConstructorType2	↳ 2号 機械設計の業務
Option.P_ConstructorType3	↳ 3号 放送機器等操作の業務
Option.P_ConstructorType4	↳ 4号 放送番組等演出の業務
Option.P_ConstructorType5	↳ 5号 事務用機器操作の業務
Option.P_ConstructorType6	↳ 6号 通訳、翻訳、速記の業務
Option.P_ConstructorType7	↳ 7号 秘書の業務
Option.P_ConstructorType8	↳ 8号 ファイリングの業務
Option.P_ConstructorType9	↳ 9号 調査の業務
Option.P_ConstructorType10	↳ 10号 財務処理の業務
Option.P_ConstructorType11	↳ 11号 貿易取引文書作成の業務
Option.P_ConstructorType12	↳ 12号 デモンストラーションの業務
Option.P_ConstructorType13	↳ 13号 添乗の業務
Option.P_ConstructorType14	↳ 14号 建築物清掃の業務
Option.P_ConstructorType15	↳ 15号 建築設備運転、点検、整備の業務
Option.P_ConstructorType16	↳ 16号 案内/受付、駐車場管理等の業務
Option.P_ConstructorType17	↳ 17号 研究開発の業務
Option.P_ConstructorType18	↳ 18号 事業の実施体制の企画、立案の業務

Option.P_ConstructorType19	↳ 19号 書籍等の制作/編集の業務
Option.P_ConstructorType20	↳ 20号 広告デザインの業務
Option.P_ConstructorType21	↳ 21号 インテリアコーディネーターの業務
Option.P_ConstructorType22	↳ 22号 アナウンサーの業務
Option.P_ConstructorType23	↳ 23号 OA インストラクションの業務
Option.P_ConstructorType24	↳ 24号 テレマーケティングの営業の業務
Option.P_ConstructorType25	↳ 25号 セールスエンジニアの営業、金融商品の営業関係の業務
Option.P_ConstructorType26	↳ 26号 放送番組等における大道具/小道具の業務
Option.P_ActivityPhase	フェーズ(アクティビティ)
Option.P_ClientPhase	フェーズ(企業)
Option.P_RecruiterPhase	フェーズ(企業担当者)
Option.P_PersonPhase	フェーズ(個人連絡先)
Option.P_SalesPhase	フェーズ(売上)
Option.P_ContractPhase	フェーズ(契約)

Update History

Version 3.12.9

2016/2/19

- [XML Format]-[Read API]に Image 型を追加しました。
- [XML Format]-[Write API]に Image 型を追加しました。
- [Code Reference]-[Field Type List]に Image 型を追加しました。
- [Parameter]-[Read - Condition]-[Suffix for Number Type]に or suffix を追加しました。
- [Resource API]に Activity API、Contract API、Sales API 及び Phase API を追加しました。
- [Code Reference]-[Field Type List]の誤字を修正しました。
- [Code Reference]-[Field Type List]に User 型を追加しました。
- [初期項目と選択肢]-[初期項目] に Activity Resource の項目を追加しました。

Version 3.12

2015/12/14

- [Overview]の冒頭にある「HR Business Cloud API」を「HR Business Cloud Connect API」へ名称変更をしました。
- [Authentication and Authorization]-[Company DB にアクセス権を付与するには]の実行例に対する解説を補足しました。
- [Parameter]-[Read - Keywords]に Telephone Type キーワードのフォーマットおよびその他の Data Type の検索動作に関する記述を追記しました。
- [XML Format]-[Read API]に Number Type の値が小数の場合における動作の記述を追記しました。
- [XML Format]-[Write API]に Number Type の値が小数の場合における動作の記述を追記しました。

Version 3.11.9

2015/11/04

- [Parameter]-[Read - Field]の誤字を修正しました。
- [Parameter]-[Read - Order]の Field Name に指定できるデータ型の記述を追記しました。
- [特殊な動作]-[Phase の更新について]-[新規登録時の制約]の誤字を修正しました。
- [初期項目と選択肢]の解説におけるバージョンに関する表現を削除しました。
- [初期項目と選択肢]-[初期項目]の削除できない項目に付ける注記号の色を変更しました。
- [Option]-[Read]-[Input Variables]の count パラメータの記述を改めました。
- [Resource]-[Candidate]-[Read]-[Input Variables]の誤字を修正しました。
- [Resource]-[Candidate]-[Read]-[Output Values]の誤字を修正しました。
- [Resource]-[Resume]-[Read]-[Output Values]の誤字を修正しました。
- [Resource]-[Resume]-[Write]-[Input Variables]に Resume.P_Owner が記載されていなかったのを修正しました。
- [Resource]-[Resume]-[Write]の Sample Input XML に Resume.P_Owner が記載されていなかったのを修正し

ました。

- [Resource]-[Process]-[Read]-[Output Values]の誤字を修正しました。
- [初期項目と選択肢]-[初期項目]から Client.P_PhaseCalendar、 Recruiter. P_PhaseCalendar、 Job. P_PhaseCalendar、 Resume. P_PhaseCalendar、 Person. P_PhaseCalendar、 Process. P_PhaseCalendar、 Sales. P_PhaseCalendar を削除しました。

Version 3.11

2015/08/17

- [Resource]-[Candidate]-[Write]の Output Values で、Candidate の Id と記述されるべきところを Option の Id と記載していたのを修正しました。

2015/08/05

- 次の API の Read の Input Variables で field パラメータを省略したときのデフォルト値についての記載を追加しました。
 - [Resource]-[Client]-[Read]
 - [Resource]-[Recruiter]-[Read]
 - [Resource]-[Job]-[Read]
 - [Resource]-[Candidate]-[Read]
 - [Resource]-[Resume]-[Read]
 - [Resource]-[Process]-[Read]

Version 3.9.16

2015/06/22

- [Parameter]-[Read - Condition]の誤字を修正しました。
- [Parameter]-[Read - Condition]-[Suffix for Option Type]の誤字を修正しました。
- [Resource API]-[Process]-[Read]の誤字を修正しました。

Version 3.9.12

2015/01/28

- [Authentication and Authorization]-[Company DB にアクセス権を付与するには]の誤字を修正しました。
- [OAuth]-[oauth]の redirect_url パラメータの指定方法を修正しました。
- [Partition]-[Read]の request_type パラメータの指定方法を修正しました。

Version 3.3

2013/05/01

- [Candidate]-[Read]の GET 時に使用する URL が <https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/job> となっていたのを <https://api-hrbc-jp.porterscloud.com/v1/candidate> に修正しました。

2013/04/23

- [特殊な動作]を追加しました。この章に[Phase の更新について]と[名称が自動生成される項目]についての解説を記載しています。
- [Terminology]に Field と Option の解説を追加しました。
- [Code Reference]-[Result Code List]に Code 126(最新フェーズとして設定できません)の記述を追加しました。
- [初期項目と選択肢]を追加しました。HRBC 利用開始時にデフォルトで設定される項目のうち API でアクセスできるものが記載されています。
- Resource ごとに記載していた[Field List]の内容を最適化しました。
- 「キャンディデイト」という表記を「個人連絡先」に変更しました。
- 「キャリアシート」という表記を「レジюме」に変更しました。

Version 3.2.10.4

2013/02/04

- Resource Reference Type と記述されていた全ての部分を System Type という記述に統一しました。
- [Client]
 - [Read]の GET Request の定義に、count=[value]のパラメータが記述されていなかったのを修正しました。
- [Recruiter]
 - [Read]の GET Reuest の定義で、partition 以外のパラメータが記載されていなかったのを修正しました。
 - [Read]の Sample Output XML を追加しました。
 - [Write]の Input Variables, Sample Input XML, Output Values, Sample Output XML を追加しました。
 - System Type List を追加しました。
- [Job]
 - [Read]の Get Request の定義に、count=[value]のパラメータが記述されていなかったのを修正しました。
 - [Write]の Input Variables, Sample Input XML, Output Values, Sample Output XML を追加しました。
- [Candidate]
 - [Read]の Get Request の定義に、count=[value]のパラメータが記述されていなかったのを修正しました。
 - [Read]の Sample Output XML を追加しました。
 - System Type List を追加しました。
- [Resume]
 - [Read]の Get Request の定義に、count=[value]のパラメータが記述されていなかったのを修正しました。
 - [Write]の Output Values を追加しました。
 - System Type List を追加しました。
- [Process]
 - [Read]の Get Request の定義に、count=[value]のパラメータが記述されていなかったのを修正しました。
 - [Write]の Input Variables, Sample Input XML, Output Values, Sample Output XML を追加しました。
 - Process.P_JobOwner と Process.P_ResumeOwner は Reference Type に変更になりました。
 - System Type List を追加しました。
- [Attachment]

- [Read]の Get Request の定義に、count=[value]と start=[value]のパラメータが記述されていなかったのを修正しました。

Version 3.2.10.2

2012/12/25

- [Parameter]-[Read-Condition]の概略説明で Job.P_UpdateDate に対する条件が 2012/03/18 と誤って表記されていました。Job.P_UpdateDate は年月日時分型なので、正しい指定方法を記載しました。
- [Parameter]-[Read-Condition]-[Suffix for Option Type]の Suffix ごとの指定方法に関する例で、選択肢の ID による指定方法が誤って記載されていました。この指定方法はサポートされておりませんので、削除しました。
- 次の API の Read で使用する GET の定義に count および start が記載されていなかったのを追加しました。
 - [Resource]-[Partition]-[Read]
 - [Resource]-[User]-[Read]
- 次の API の Read の Input Variables で start パラメータを省略したときのデフォルト値についての記載を追加しました。
 - [Resource]-[Partition]-[Read]
 - [Resource]-[User]-[Read]
 - [Resource]-[Field]-[Read]
 - [Resource]-[Job]-[Read]
 - [Resource]-[Candidate]-[Read]
 - [Resource]-[Resume]-[Read]
- [Resource]-[User]の Input Variables に脚注※1、※2、※3 を追加しました。
- [Resource]-[Field]-[Field List]の Field.P_ReferTo の説明に、参照型についての内容を記載しました。
- [Resource]-[Field]の Input Variables の resource パラメータに必須の記載が無かったのを追記しました。
- [Resource]-[Option]の Input Variables に“self”が指定できる旨の誤記があったのを削除しました。
- [Resource]-[Option]-[Field List]の Option.P_Type に設定される値の説明を追記しました。
- 次の API の Read の Input Variables で指定できるキーワードのパラメータが、keyword と誤記されていたのを keywords に修正しました。
 - [Resource]-[Client]-[Read]
 - [Resource]-[Job]-[Read]
 - [Resource]-[Candidate]-[Read]
 - [Resource]-[Resume]-[Read]
 - [Resource]-[Process]-[Read]
- [Resource]-[Candidate]-[Scope]で、必要なアクセス件に recruiter_r 記載されていましたが、Candidate にアクセスするために必要ありませんので、削除しました。
- [Resource]-[Resume]-[Write]の Resume.P_Mail と Resume.P_MobileMail が Read および Write の両方でできる旨記載がありましたが、実際は Read/Write とともにできないため、記述を削除しました。
- [Resource]-[Process]-[Read]の Output Values で、process パラメータと記述されるべきところを job と記載していたのを修正しました。

- [Resource]-[Attachment]-[Read]の Scope で、attachment_r のみが記載されていましたが、process_r, resume_r, candidate_r, job_r, recruiter_r, client_r が記載されていなかったのを修正しました。
- [Resource]-[Client]-[Field List]の Data Type で次の記述内容を訂正しました。
 - Client.P_Id: Number → System(Number)
 - Client.P_Owner: Number → System
 - Client.P_RegisteredBy: Number → System
 - Client.P_UpdatedBy: Number → System
- [Resource]-[Recruiter]-[Field List]の Data Type で次の内容を訂正しました。
 - Recruiter.P_Id: System → System(Number)
 - Recruiter.P_Owner: Number → System
 - Recruiter.P_Client: Number → System
 - Recruiter.P_RegisteredBy: Number → System
 - Recruiter.P_UpdatedBy: Number → System
- [Resource]-[Job]-[Field List]の Data Type で次の内容を訂正しました。
 - Job.P_Id: Number → System(Number)
 - Job.P_Owner: Resource Reference → System
 - Job.P_Client: Resource Reference → System
 - Job.P_Recruiter: Resource Reference → System
 - Job.RegisteredBy: Reference → System
 - Job.UpdatedBy: Reference → System
- [Resource]-[Candidate]-[Field List]の Data Type で次の内容を訂正しました。
 - Person.P_Id: System/Number → System(Number)
 - Person.P_Owner: Resource Reference → System
 - Person.P_RegisteredBy: Resource Reference → System
 - Person.P_UpdatedBy: Resource Reference → System
- [Resource]-[Resume]-[Field List]の Data Type で次の内容を訂正しました。
 - Resume.P_Id: Number → System(Number)
 - Resume.P_Owner: Number → System
 - Resume.P_Candidate: Number → System
 - Resume.P_RegisteredBy: Number → System
 - Resume.P_UpdatedBy: Number → System
- [Resource]-[Process]-[Field List]の Data Type で次の内容を訂正しました。
 - Process.P_Id: System/Number → System(Number)
 - Process.P_Owner: Resource Reference → System
 - Process.P_Client: Resource Reference → System
 - Process.P_Recruiter: Resource Reference → System
 - Process.P_Job: Resource Reference → System
 - Process.P_Candidate: Resource Reference → System

- Process.P_Resume: Resource Reference → System
- Process.P_JobOwner: Resource Reference → System
- Process.P_ResumeOwner: Resource Reference → System
- Process.P_RegisteredBy: Resource Reference → System
- Process.P_UpdatedBy: Resource Reference → System

Version 3.2.10

2012/12/25

- Version3.2.10 以降の API では、[Resource]-[Attachment]-[Write]で指定できる Field 名が変更されました。なお、互換性のため旧名称を使用することはできますが、将来削除される可能性があります。
 - Filename → FileName
 - MimeType → ContentType

2012/11/28

- [Code reference]-[Resource List]の Client=7、Process=9、Recruiter=11、Sales=17 となっていたのを、正しい値に修正しました。
- [Code Reference]-[Resource List]に Resume の記載を追加しました。

2012/11/15

- [Attachment]-[Write]の Remarks に、File Size の制限についての記述を追加しました。
- [Code Reference]の[Resule Code List]に Code 500 の記述を追加しました。

2012/10/31

- このドキュメントの表紙のバージョン表記を削除しました。

Version 3.2.9

2012/10/22

- [Client]-[Read]の URL が job になっていたのを client に修正。
- [Client]-[Write]の記述が無かったのを追加しました。
- [Client]-[Write]の URL が recruiter となっていたのを client に修正。

2012/09/18

- [Candidate]-[Write]の Input Variables で Person.P_Owner が記述されていなかったのを追加しました。Person.P_Owner は Candidate API の必須項目となります。

Version 3.2.8.1

2012/08/27

- [Attachment]-[Read]および[Write]で、Input Variables の解説が不足していたのを追加しました。

- [Write]系全ての解説で、URL Parameter に指定する部分と、XML の Tag で指定する部分が混在して記載されていたのを分けて表記するようにしました。

2012/08/23

- [Option]-[Field List] で、選択肢の並び順を表す Field Name が Option.P_SortOrder となっていたのを Option.P_Order に修正しました。これは Document の誤植でプログラムには修正はありません。

2012/08/17

- [Candidate]-[Write]の Input Variables に記載されているサンプルに<Person.P_Owner>を追加しました。<Person.P_Owner>は Candidate 登録時に必須となります。
- P13 [Company DB にアクセス権を付与するには]の 2 で解説している URL に redirect_url の指定がなかったのを修正しました。

2012/08/16

- 各 Resource にアクセスするために必要な Scope を記述しました。
- Write 系 API の URL が https://api.pro-agent.com になっていたのを、api-hrbc-jp.porterscloud.com に修正しました。

Version 3.2.8

2012/07/30

- [Field]-[Sample Output XML]で、<Item>の要素として<Resource>が誤記されていたのを削除しました。
- [Field]-[Input Variables] の resource Parameter の Description に、「11...Sales」 s 「17...Resume」 追加しました。
- [User]-[Field List] において、User.P_Type として、「システムユーザー」と表記されていたものを「システム管理者」に変更しました。
- [Xml Format for Read API]と[Xml Format for Write API]に、Reference Type についての解説を追加しました。
- [Code Reference]に、Resource List と Field Type List を追加しました。
- [Candidate], [Resume], -[Write]の Output Values で、Partition Id が出力されるかのように記載されていたのを削除しました。

2012/07/26

- OAuth の Token Method の説明で、Access Token の Refresh 方法が記載されていなかったのを追記しました。